

子ども・子育て支援事業計画策定
に伴うアンケート調査
報 告 書

平成26年3月
遠軽町

— 目 次 —

調 査 概 要

1

就学前児童調査

お住まいの地域について	5
封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	5
子どもの育ちをめぐる環境について	6
保護者の就労状況について	9
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	12
地域の子育て支援事業の利用状況について	15
土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	17
病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)	19
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	21
小学校就学後の放課後の過ごし方について	24
育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について	26
「広域利用に関するアンケート調査」	33

見込量の算出

見込量算出の基本的な考え方	45
遠軽町の人口推計	45
家族類型(現状)	46
潜在的な家族類型	47
家族類型ごとに想定されるサービスの種類	47
サービス見込み量の算出	48
参考 家族類型(現状)の算出方法	55
参考 潜在的な家族類型の算出方法	56

— 調 査 概 要 —

調査の目的

本調査は、「遠軽町子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、保護者の皆さんに子育てに関するアンケート調査を行い、日々の生活の中でどのようなご意見やご要望をお持ちであるのかをおうかがいし、今後の子育て支援を展開していくための基礎資料とするものです。

調査対象者

○ 就学前児童調査 : 遠軽町在住の就学前児童をお持ちの保護者の方

調査方法

○ 就学前児童調査 : 郵送による配布、回収調査

調査期間

平成25年11月5日～11月29日

回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童調査	770	401	52.1%

報告書利用上の注意

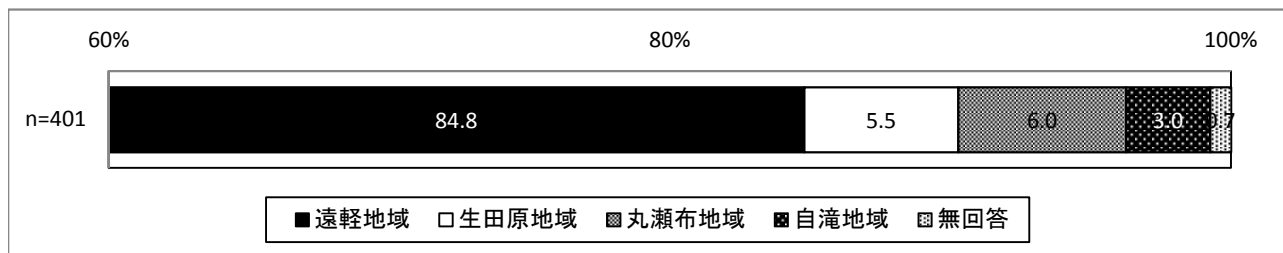
- 端数処理の関係上、構成比(%)の計が100%とならないことがあります。
- 図表の構成比(%)は小数第2位以下を四捨五入したものです。
- 複数回答の設問は、すべての構成比(%)を合計すると100%を超える場合があります。

就学前児童調査

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区はどこですか。

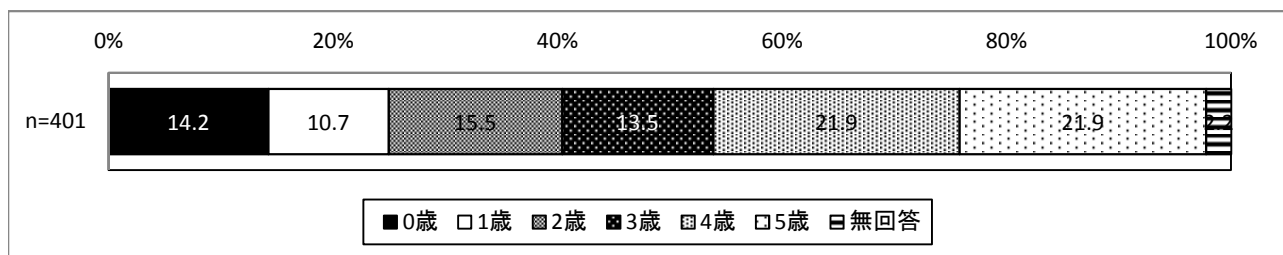
「遠軽地域」が84.8%で最も多く、次いで「丸瀬布地域」6.0%、「生田原地域」5.5%の順となっています。



封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

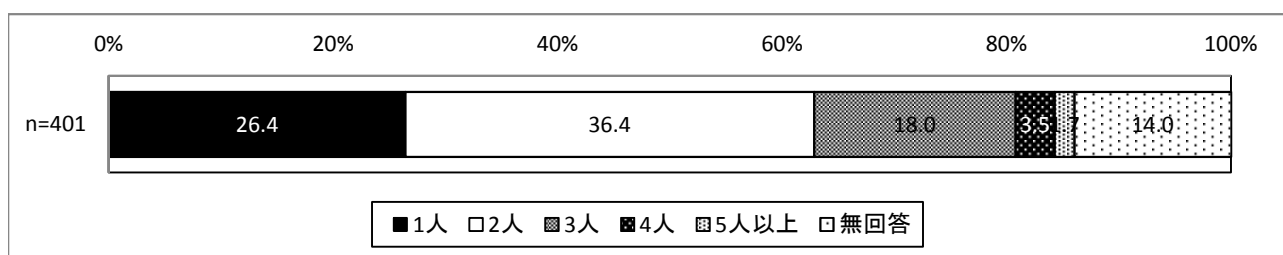
問2 宛名のお子さんの年齢

「4歳」「5歳」が21.9%で最も多く、次いで「2歳」15.5%、「0歳」14.2%の順となっています。



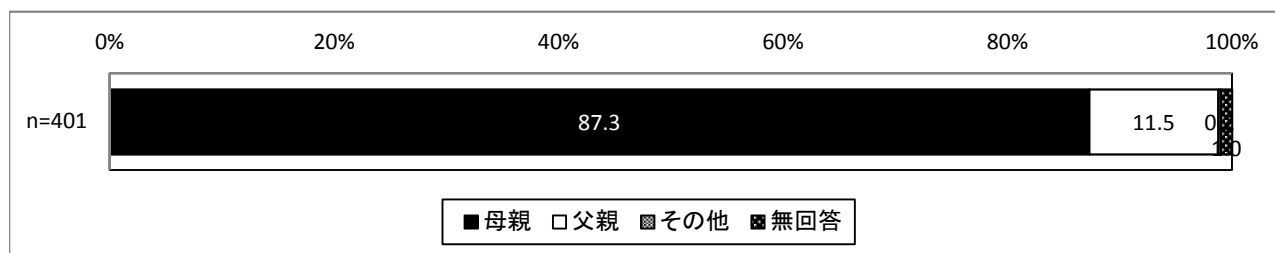
問3 宛名のお子さんを含めたきょうだいの数

「2人」が36.4%で最も多く、次いで「1人」26.4%、「3人」18.0%の順となっています。



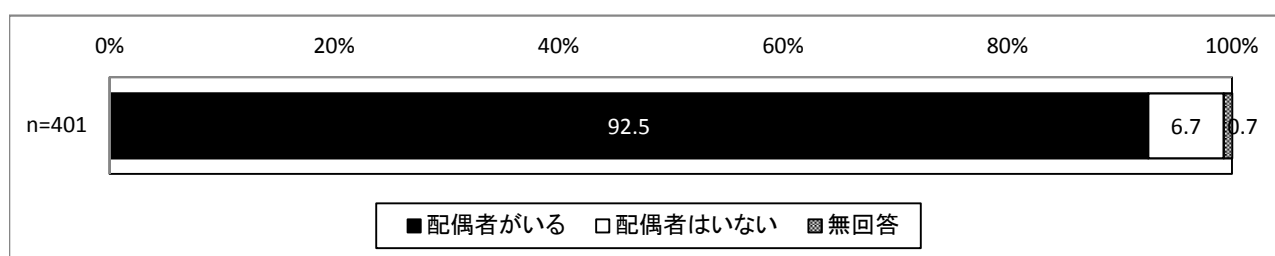
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

「母親」が87.3%、「父親」が11.5%となっています。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

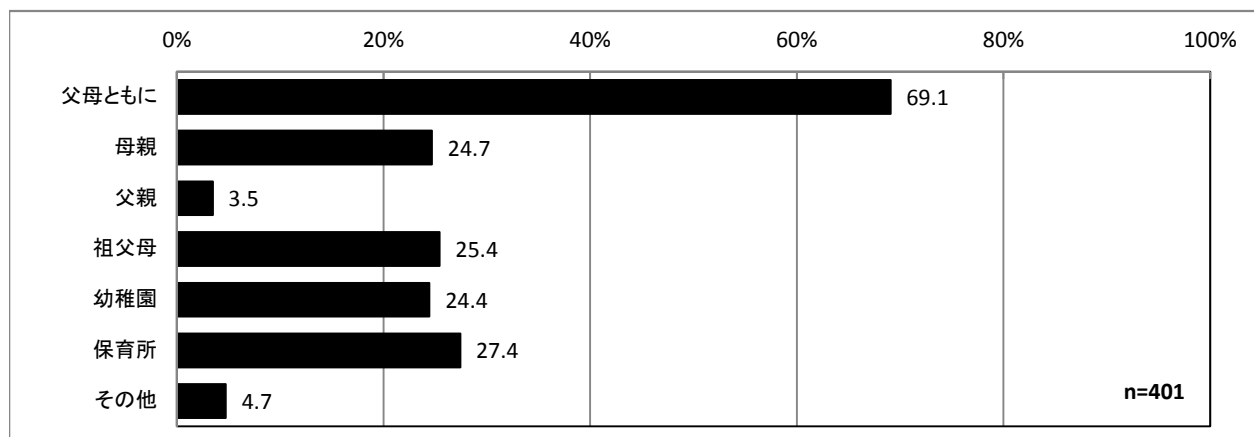
「配偶者がいる」が92.5%、「配偶者はいない」が6.7%となっています。



子どもの育ちをめぐる環境について

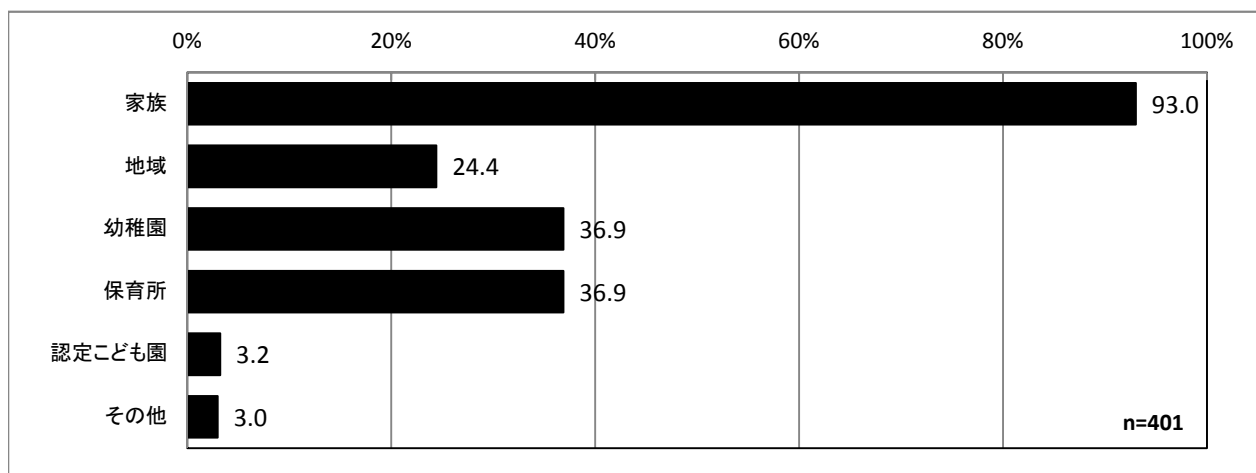
問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんから見た関係でお答えください。(複数回答)

「父母ともに」が69.1%で最も多く、次いで「保育所」27.4%、「祖父母」25.4%の順となっています。



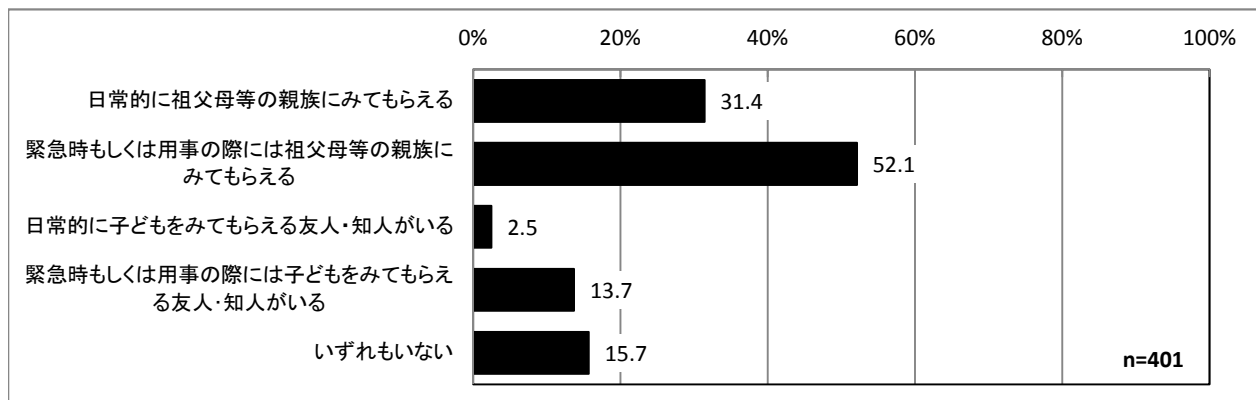
問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。(複数回答)

「家族」が93.0%で最も多く、次いで「幼稚園」「保育所」36.9%、「地域」24.4%の順となっています。



問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

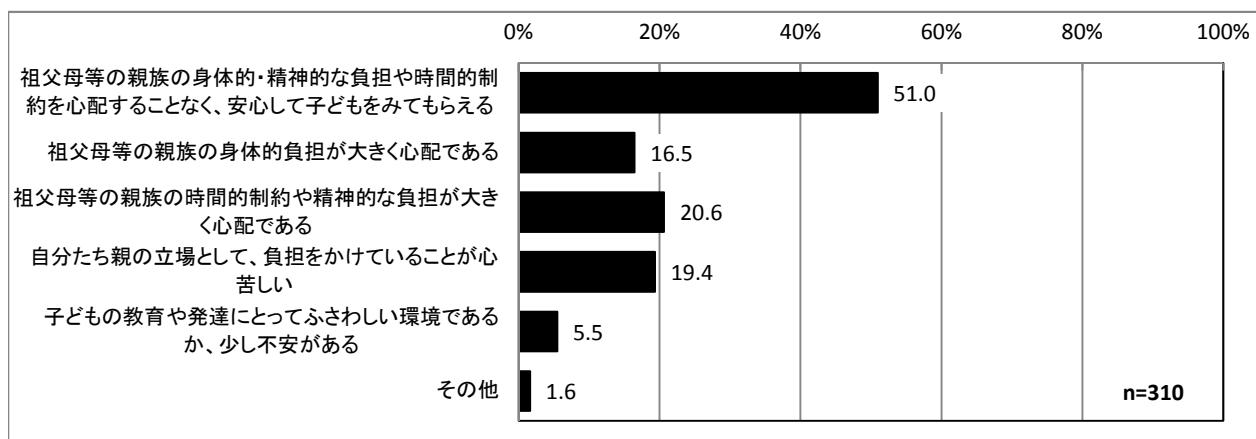
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が52.1%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」31.4%、「いずれもない」15.7%の順となっています。



問9で「1.」または「2.」と回答した方におうかがいします。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

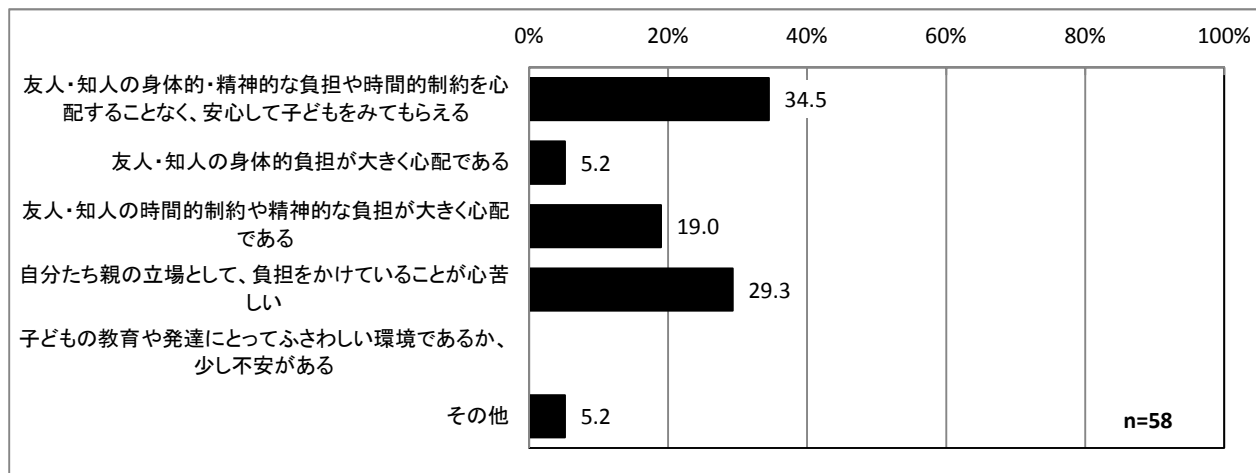
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が51.0%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」20.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」19.4%の順となっています。



問9で「3. 」または「4. 」と回答した方におうかがいします。

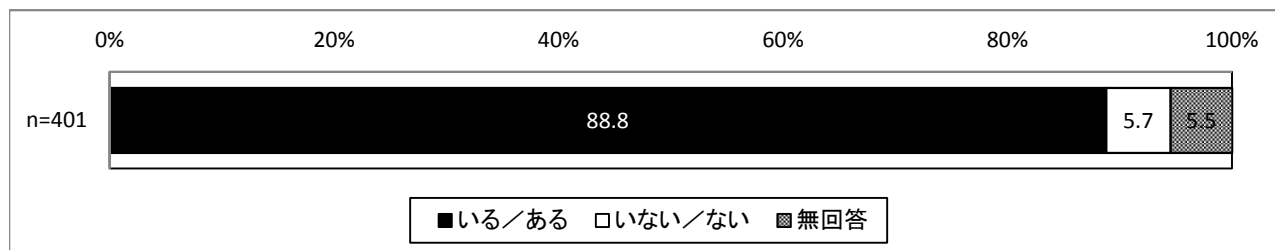
問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が34.5%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」29.3%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」19.0%の順となっています。



問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

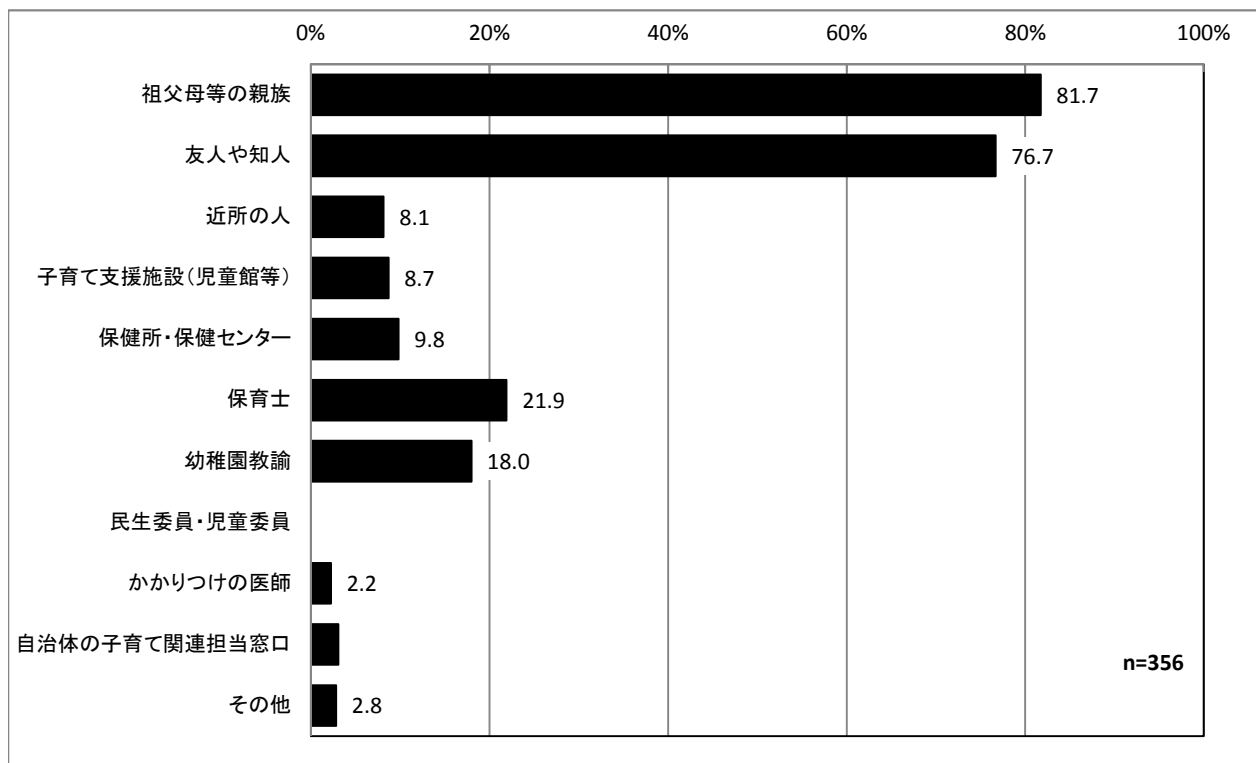
「いる／ある」が88.8%、「いない／ない」が5.7%となっています。



問10で「1. いる／ある」と回答した方におうかがいします。

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(複数回答)

「祖父母等の親族」が81.7%で最も多く、次いで「友人や知人」76.7%、「保育士」21.9%の順となっています。

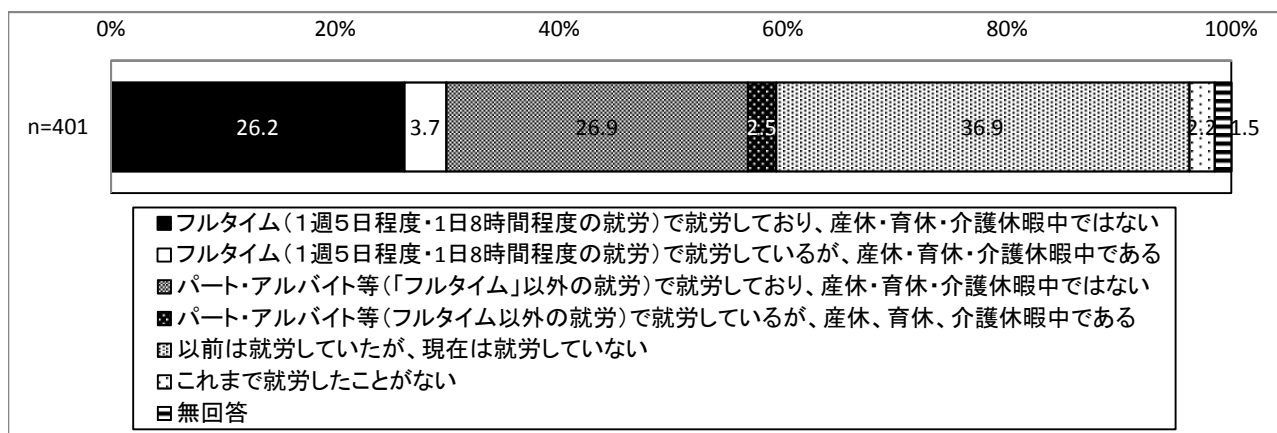


保護者の就労状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

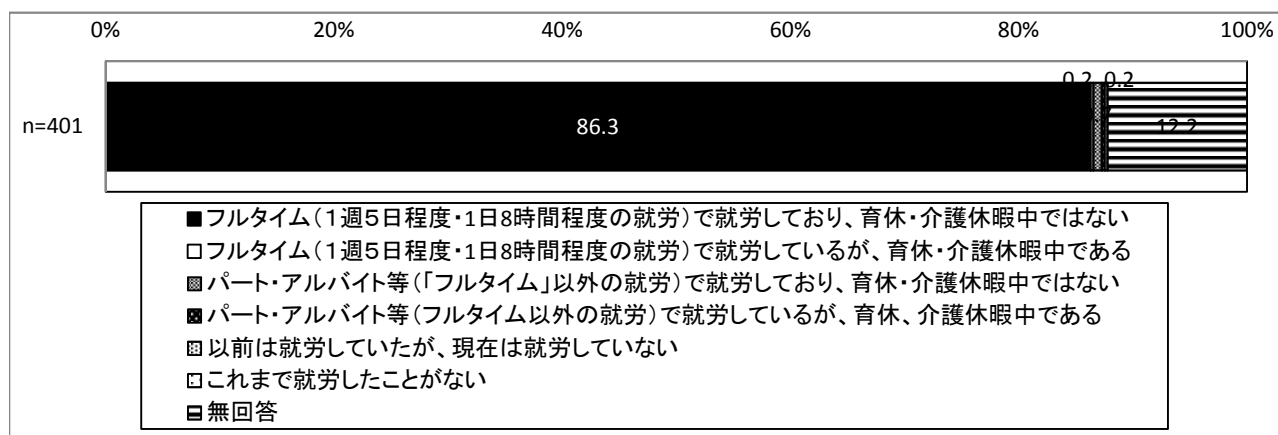
(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が36.9%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」が26.9%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」26.2%の順となっています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休暇中ではない」が86.3%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休暇中ではない」0.7%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休暇中である」「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)で就労しているが、育休・介護休暇中である」「以前は就労していたが、現在は就労していない」0.2%の順となっています。

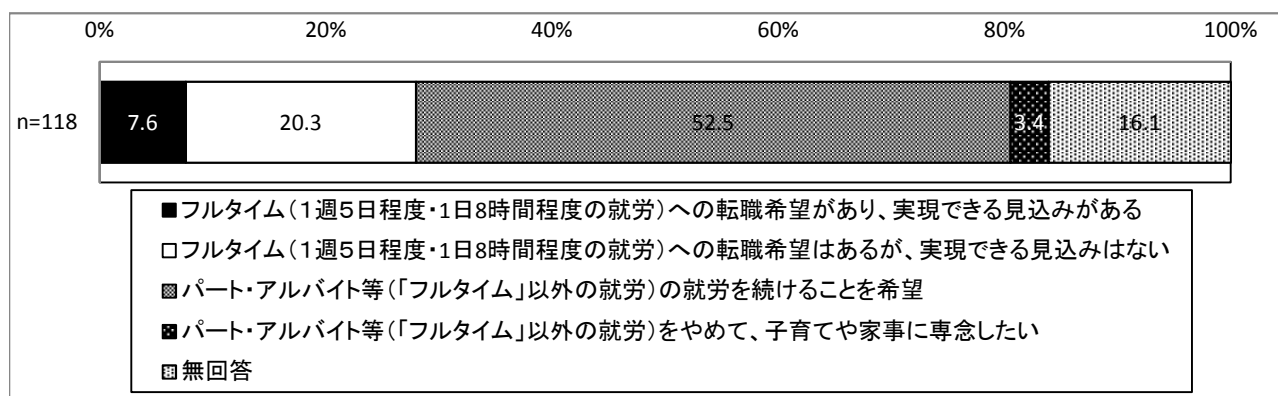


問12の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方におうかがいします。

問13 フルタイムへの転職希望はありますか。

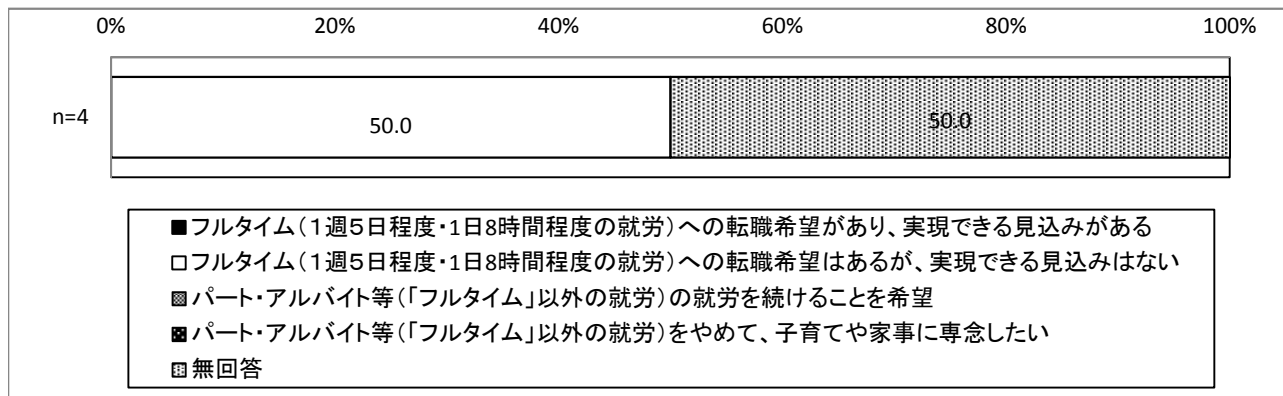
(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)の就労を続けることを希望」が52.5%で最も多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望はあるが、実現できる見込みはない」20.3%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望があり、実現できる見込みがある」7.6%の順となっています。



(2) 父親

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望はあるが、実現できる見込みはない」が50.0%となっています。

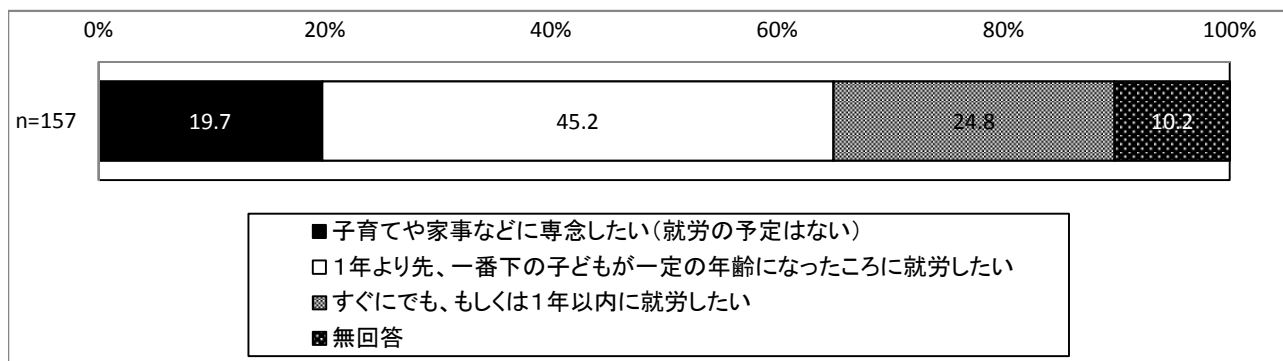


問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」と回答した方におうかがいします。

問14 就労したいという希望はありますか。

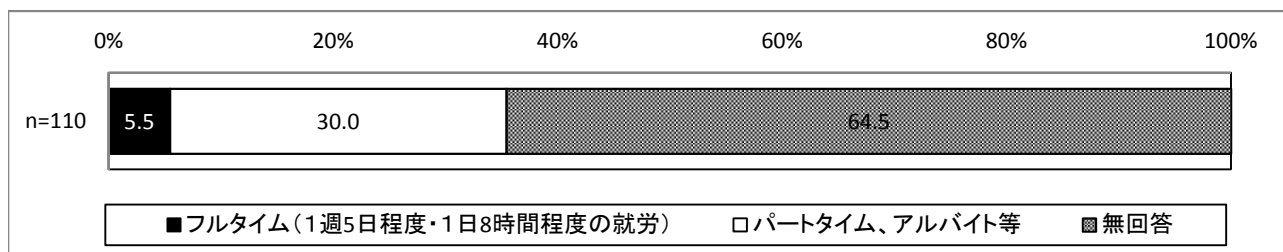
(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったところに就労したい」が45.2%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」24.8%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」19.7%の順となっています。



就労したいと回答した方が希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が5.5%、「パートタイム、アルバイト等」が30.0%となっています。



(2) 父親

回答がありません。

就労したいと回答した方が希望する就労形態

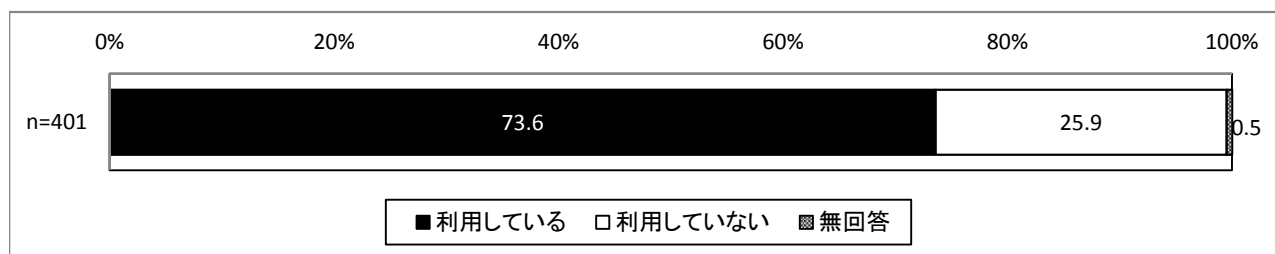
回答がありません。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

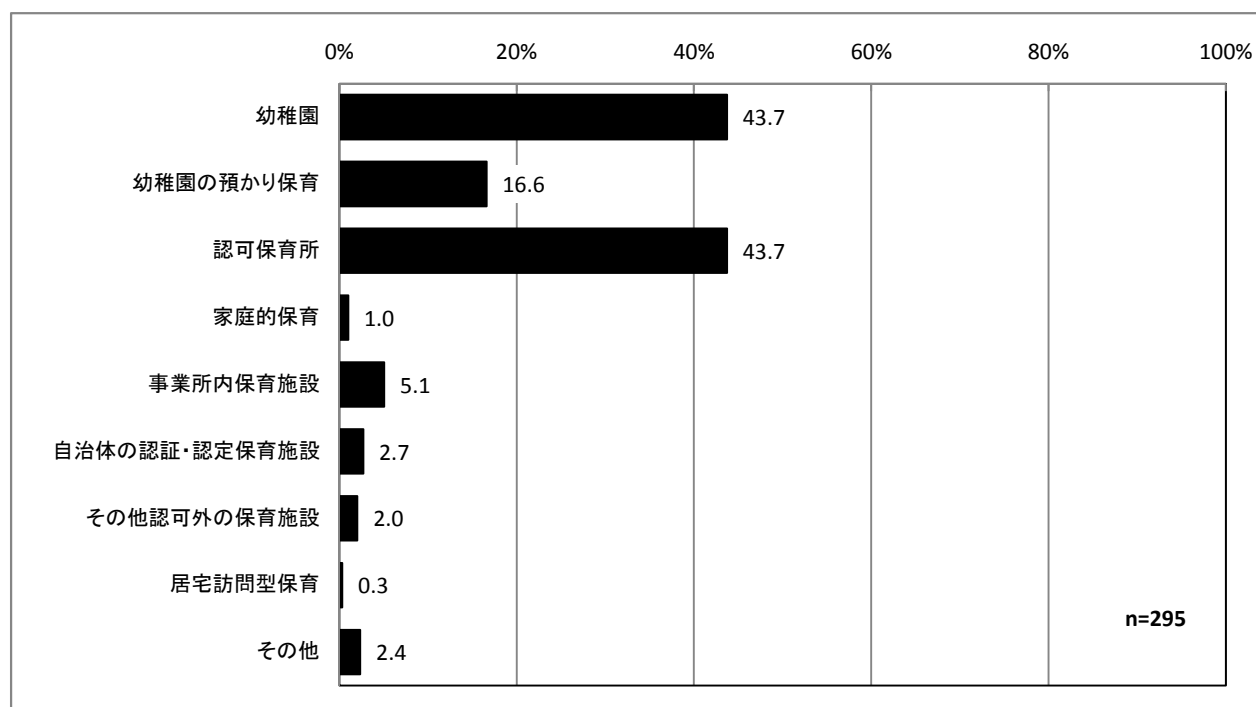
「利用している」が73.6%、「利用していない」が25.9%となっています。



問15で「1. 利用している」と回答した方におうかがいします。

問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(複数回答)

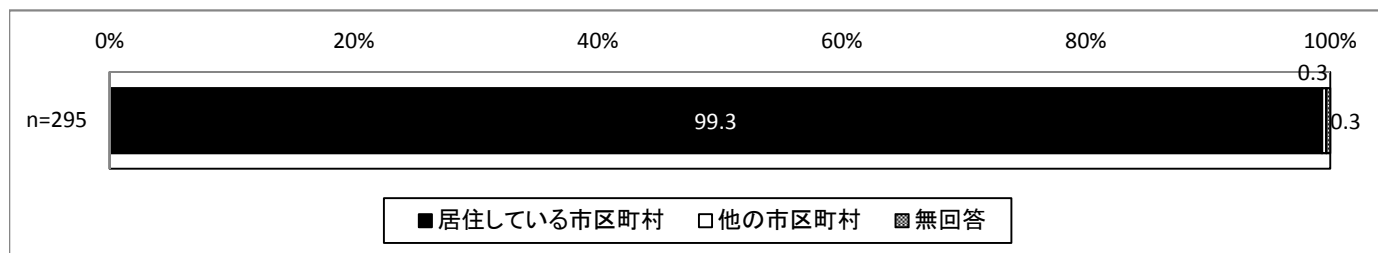
「幼稚園」「認可保育所」が43.7%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」16.6%、「事業所内保育施設」5.1%の順となっています。



問15で「1. 利用している」と回答した方におうかがいします。

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についておうかがいします。

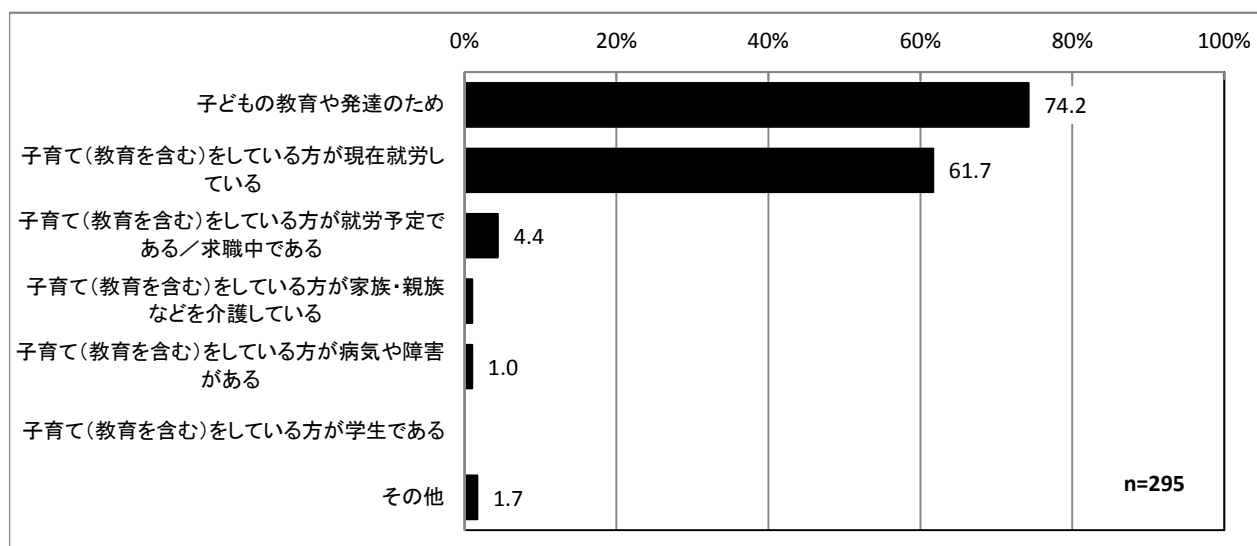
「居住している市区町村」が99.3%、「他の市区町村」が0.3%となっています。



問15で「1. 利用している」と回答した方におうかがいします。

問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。(複数回答)

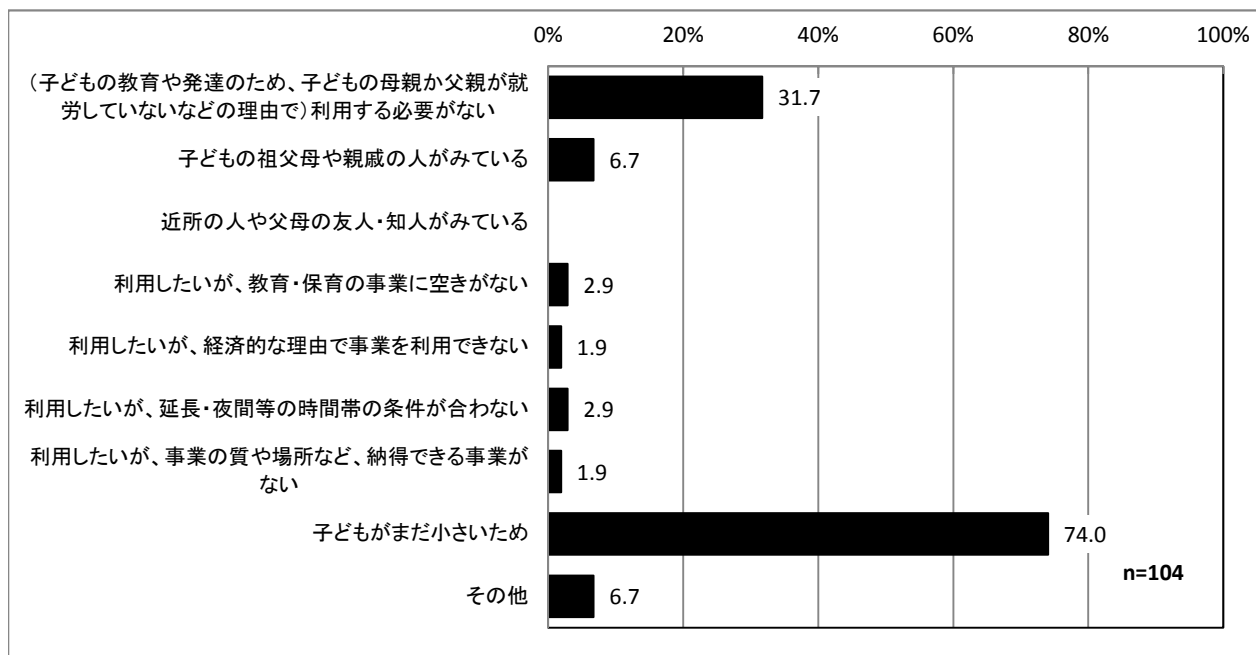
「子どもの教育や発達のため」が74.2%で最も多く、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」61.7%、「子育て(教育を含む)をしている方が就労予定である／求職中である」4.4%の順となっています。



問15で「2. 利用していない」と回答した方におうかがいします。

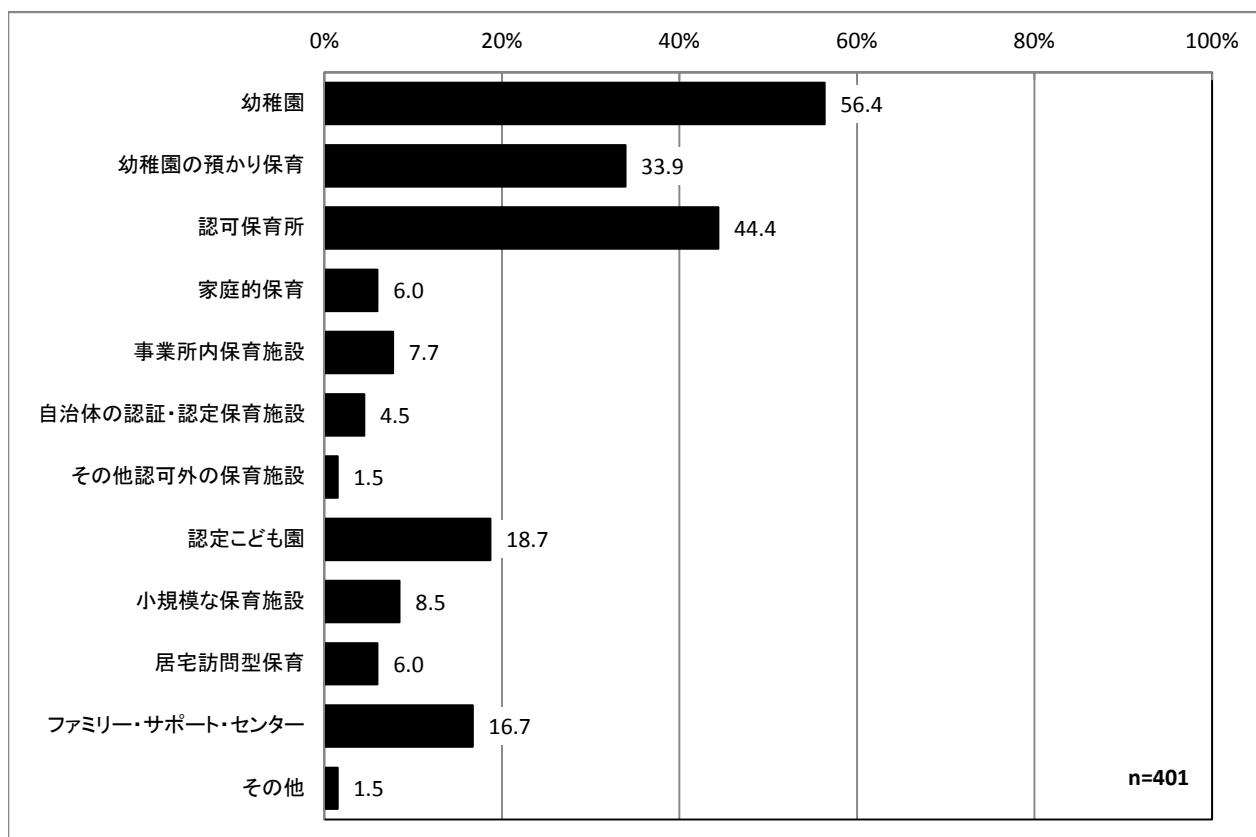
問15-5 利用していない主な理由は何ですか。(複数回答)

「子どもがまだ小さいため」が74.0%で最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」31.7%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」6.7%の順となっています。



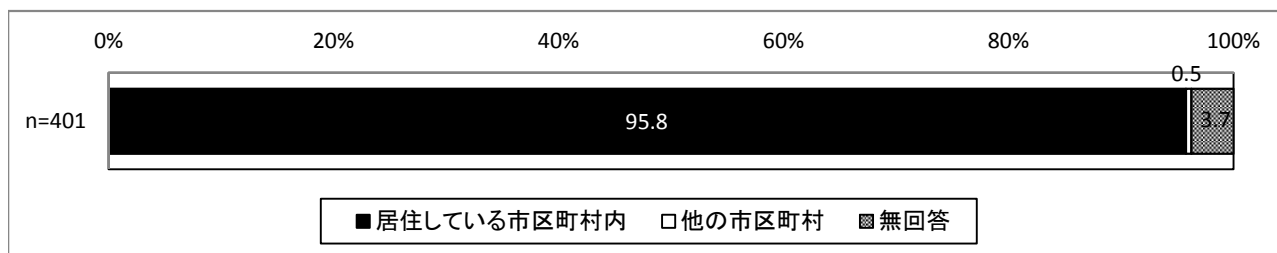
問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(複数回答)

「幼稚園」が56.4%で最も多く、次いで「認可保育所」44.4%、「幼稚園の預かり保育」33.9%の順となっています。



問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

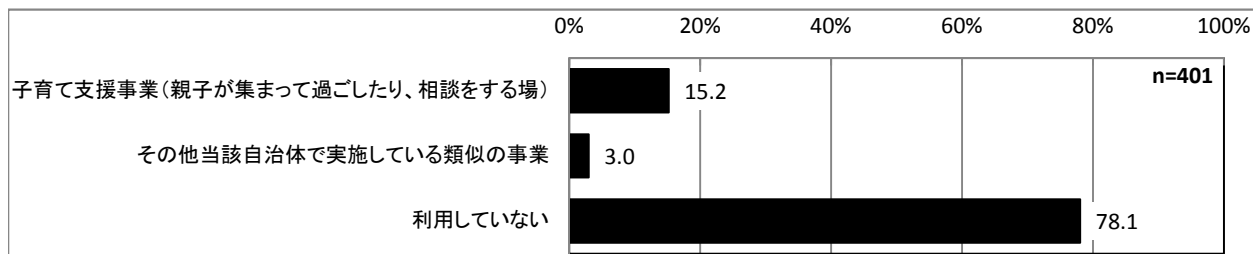
「居住している市区町村」が95.8%、「他の市区町村」が0.5%となっています。



地域の子育て支援事業の利用状況について

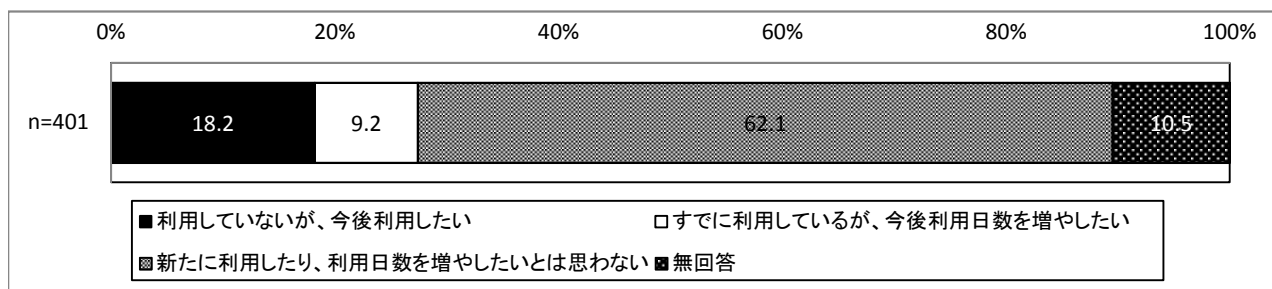
問17 宛名のお子さんは、現在、子育て支援事業を利用していますか。利用している事業をお答えください。(複数回答)

「利用していない」が78.1%で最も多く、次いで「子育て支援事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)」15.2%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」3.0%の順となっています。



問18 問17のような子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。

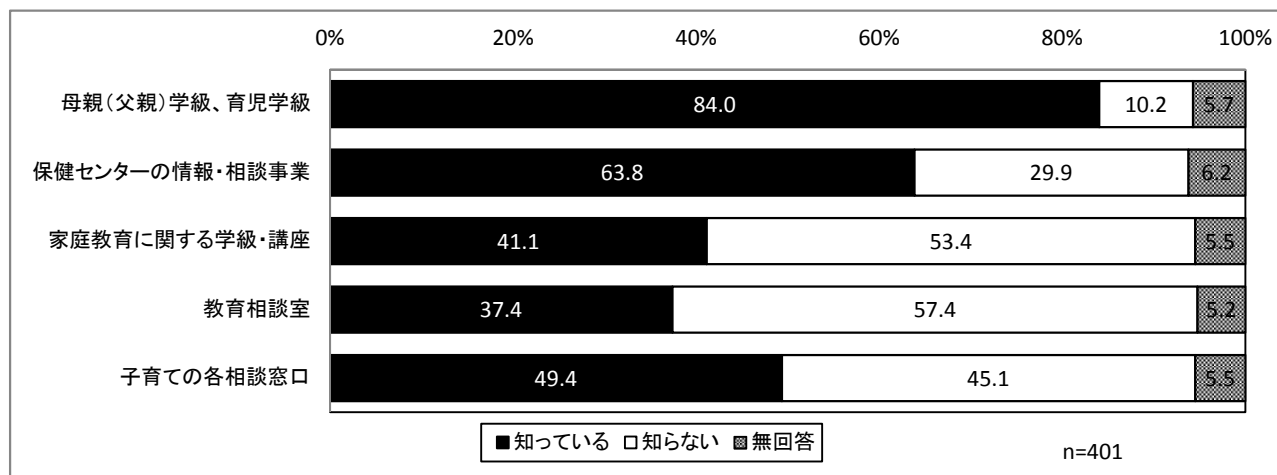
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が62.1%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」18.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」9.2%の順となっています。



問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものについて、事業ごとにお答えください。

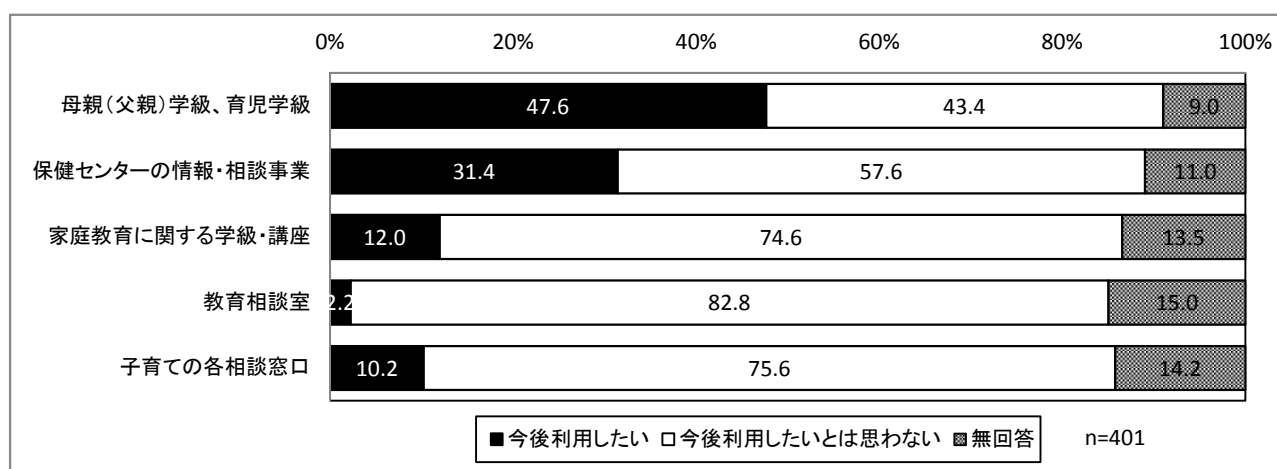
認知状況

「母親(父親)学級、育児学級」の認知状況が84.0%で最も多く、次いで「保健センターの情報・相談事業」63.8%、「子育ての各相談窓口」49.4%の順となっています。



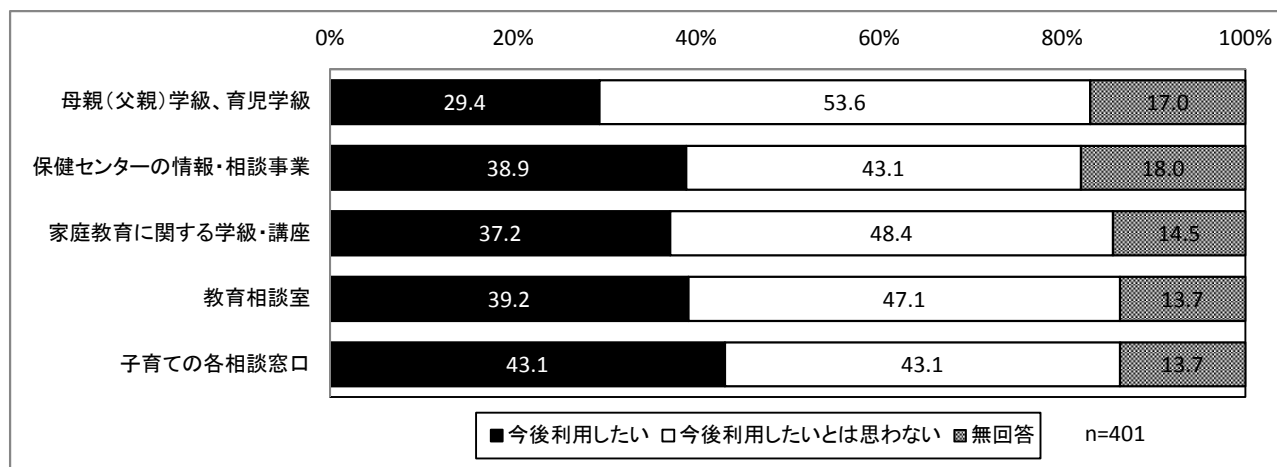
利用状況

「母親(父親)学級、育児学級」の利用状況が47.6%で最も多く、次いで「保健センターの情報・相談事業」31.4%、「家庭教育に関する学級・講座」12.0%の順となっています。



利用意向

「子育ての各相談窓口」の利用意向が43.1%で最も多く、次いで「教育相談室」39.2%、「家庭教育に関する学級・講座」37.2%の順となっています。

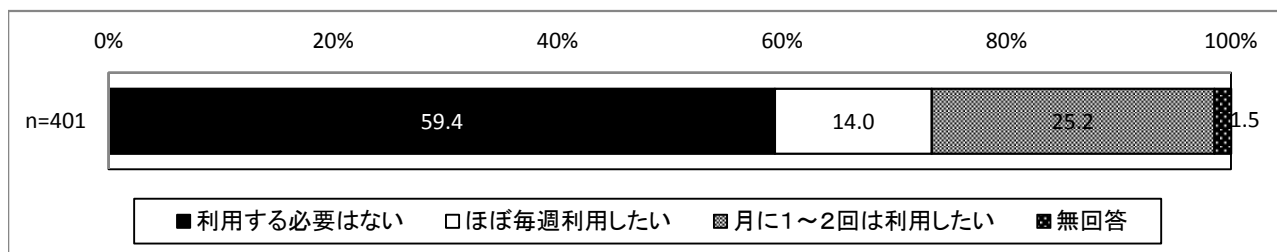


土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。

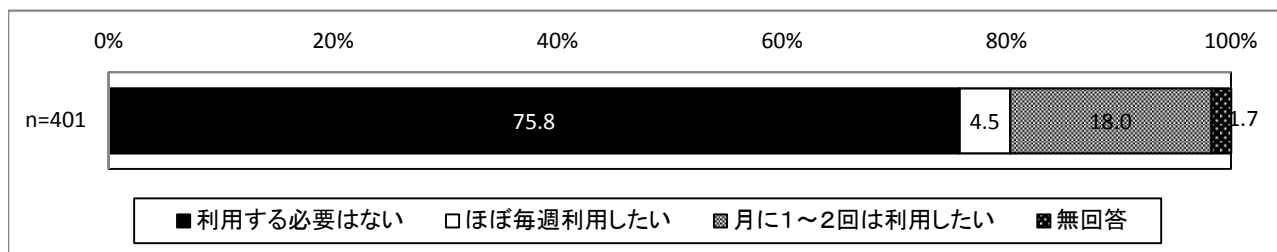
(1) 土曜日

「利用する必要はない」が59.4%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」25.2%、「ほぼ毎週利用したい」14.0%の順となっています。



(2) 日曜・祝日

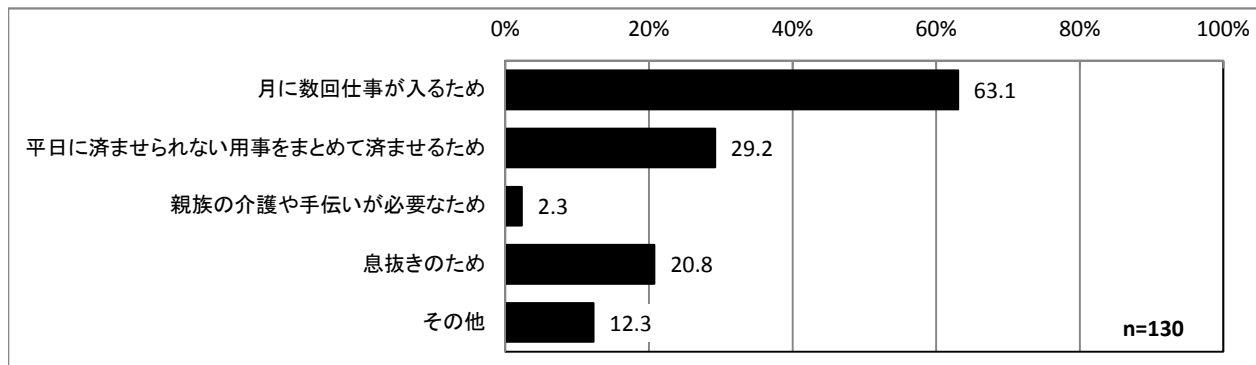
「利用する必要はない」が75.8%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」18.0%、「ほぼ毎週利用したい」4.5%の順となっています。



問20の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」と回答した方におうかがいします。

問20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(複数回答)

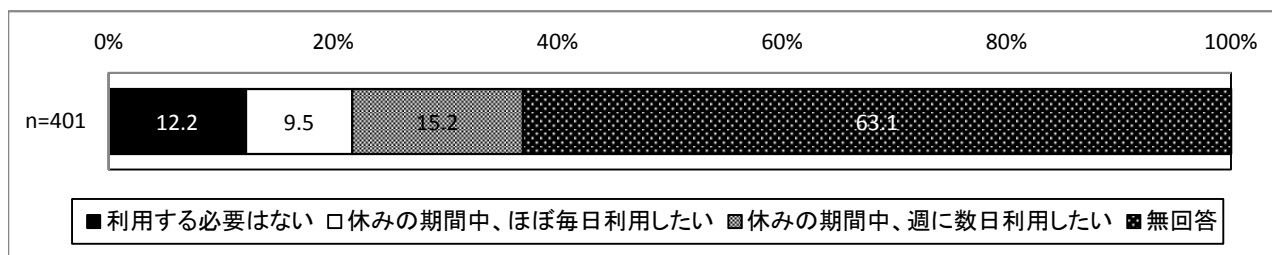
「月に数回仕事が入るため」が63.1%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」29.2%、「息抜きのため」20.8%の順となっています。



幼稚園を利用されている方におうかがいします。

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

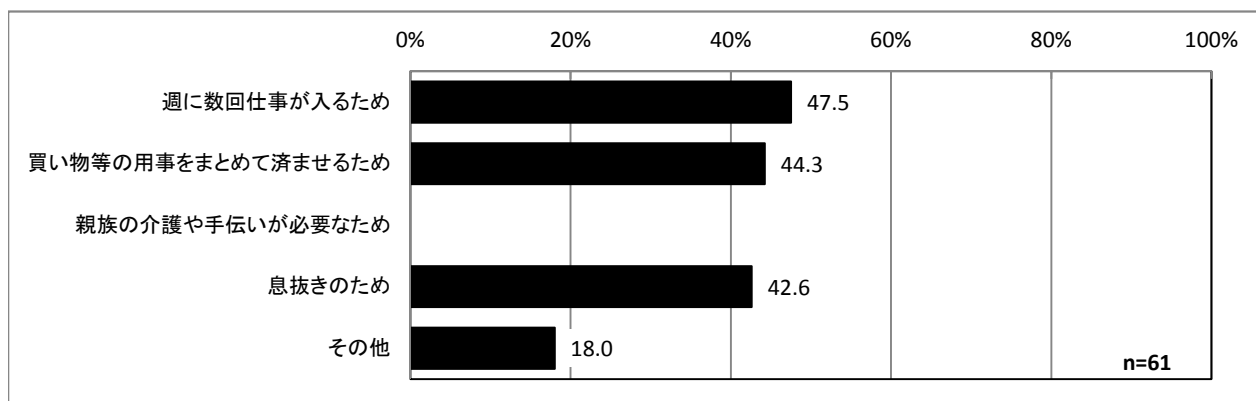
「休みの期間中、週に数日利用したい」が15.2%で最も多く、次いで「利用する必要はない」12.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」9.5%の順となっています。



問21で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方におうかがいします。

問21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(複数回答)

「週に数回仕事が入るため」が47.5%で最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」44.3%、「息抜きのため」42.6%の順となっています。

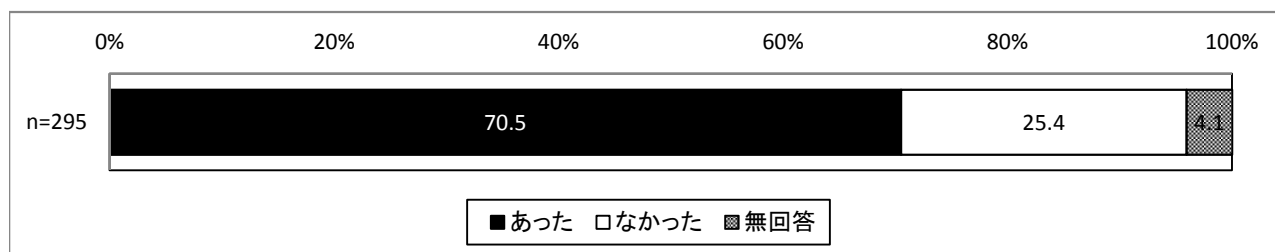


病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している(問15で「1. 利用している」と回答した方)におうかがいします。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

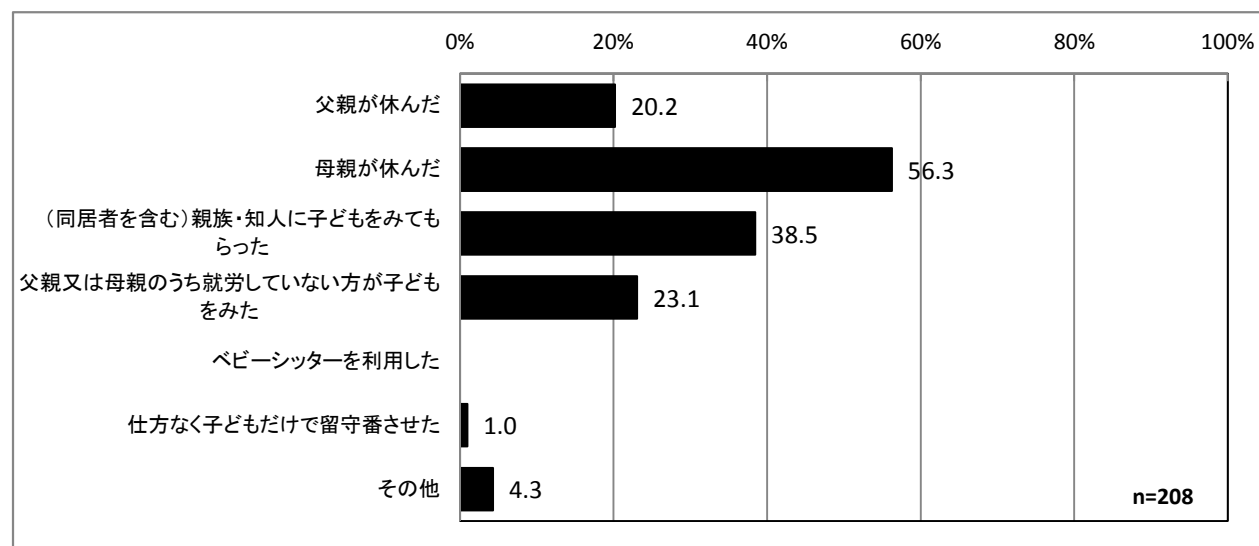
「あった」が70.5%、「なかった」が25.4%となっています。



問22で「1. あった」と回答した方におうかがいします。

問22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法と、その日数をご記入ください。(複数回答)

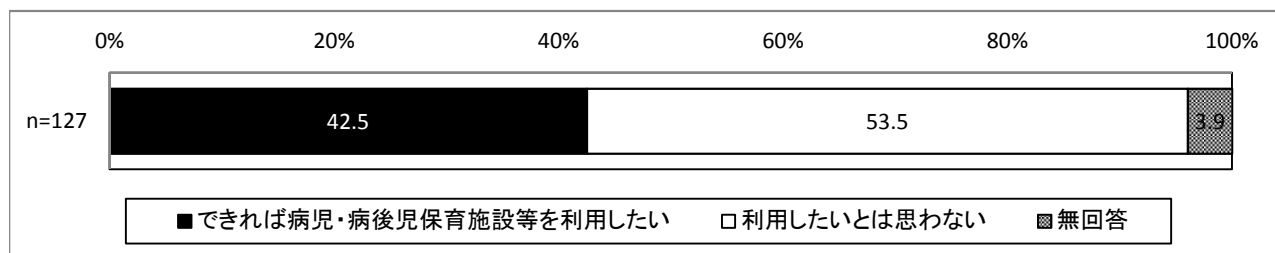
「母親が休んだ」が56.3%で最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」38.5%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」23.1%の順となっています。



問22-1で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかを回答した方におうかがいします。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

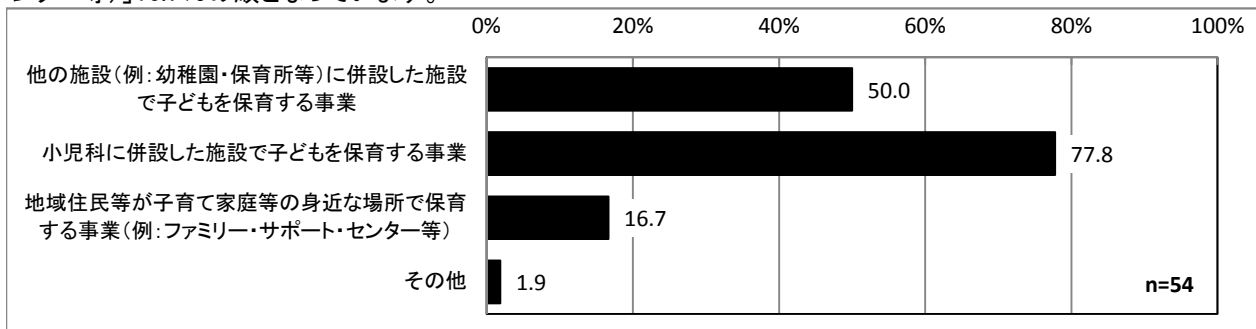
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が42.5%、「利用したいとは思わない」が53.5%となっています。



問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方におうかがいします。

問22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(複数回答)

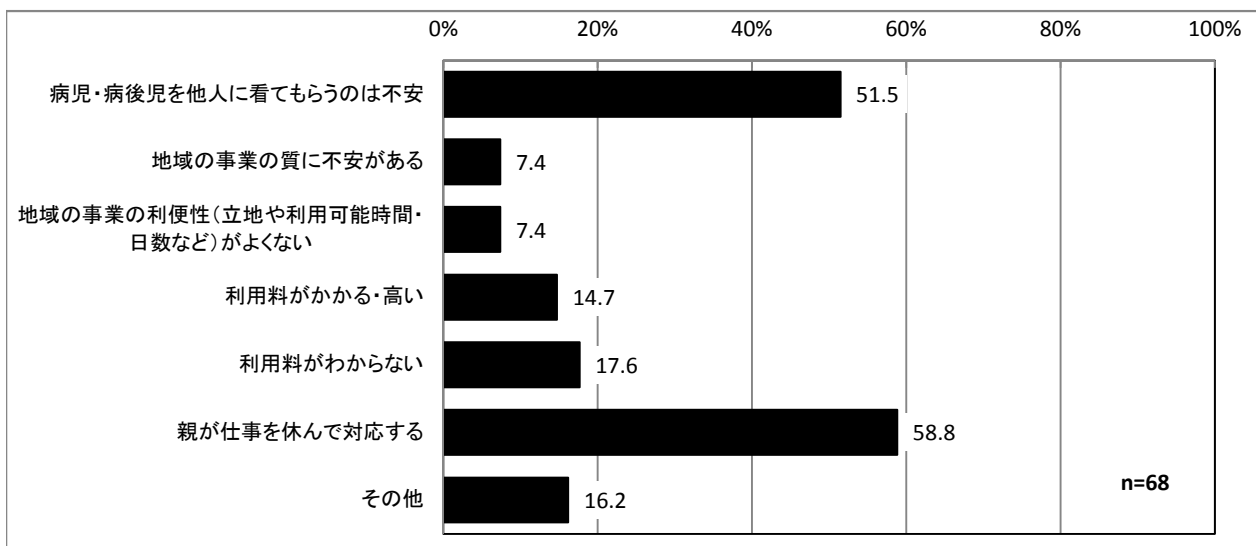
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が77.8%で最も多く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」50.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」16.7%の順となっています。



問22-2で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方におうかがいします。

問22-4 「利用したいとは思わない」理由はなんですか。(複数回答)

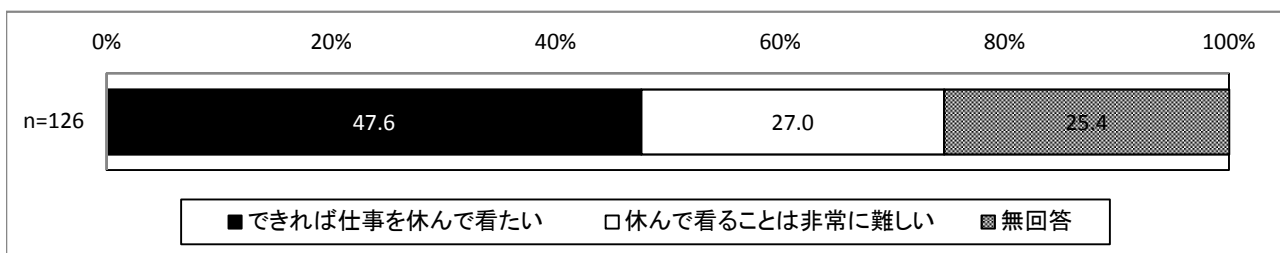
「親が仕事を休んで対応する」が58.8%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が51.5%、「利用料がわからない」17.6%の順となっています。



問22-1で「ウ. 親族知人に見てもらった」から「キ. その他」のいずれかに回答した方におうかがいします。

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

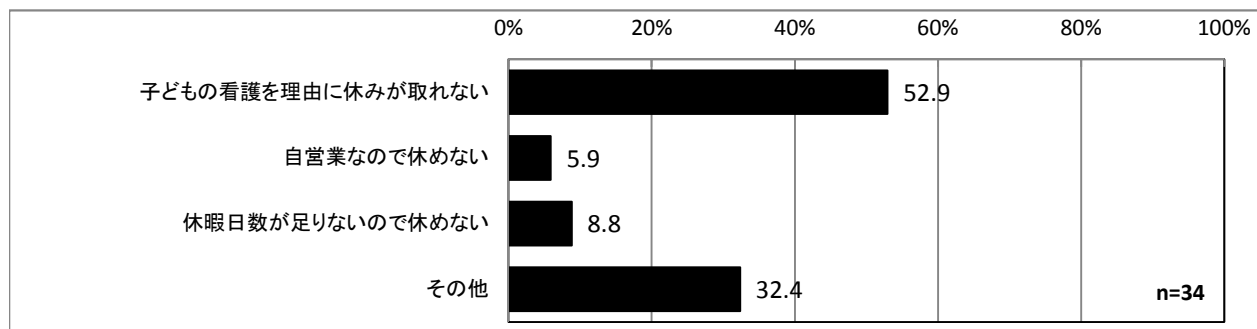
「できれば仕事を休んで看たい」が47.6%、「休んで看ることは非常に難しい」が27.0%となっています。



問22-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」と回答した方におうかがいします。

問22-6 「休んで見ることは非常に難しい」理由は何ですか。(複数回答)

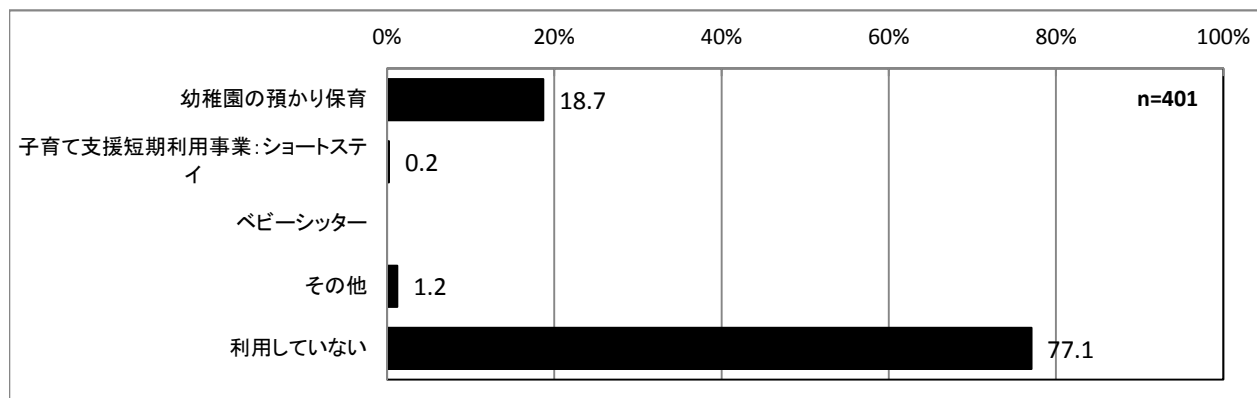
「子どもの看護を理由に休みが取れない」が52.9%で最も多く、次いで「その他」32.4%、「休暇日数が足りないので休めない」8.8%の順となっています。



不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(複数回答)

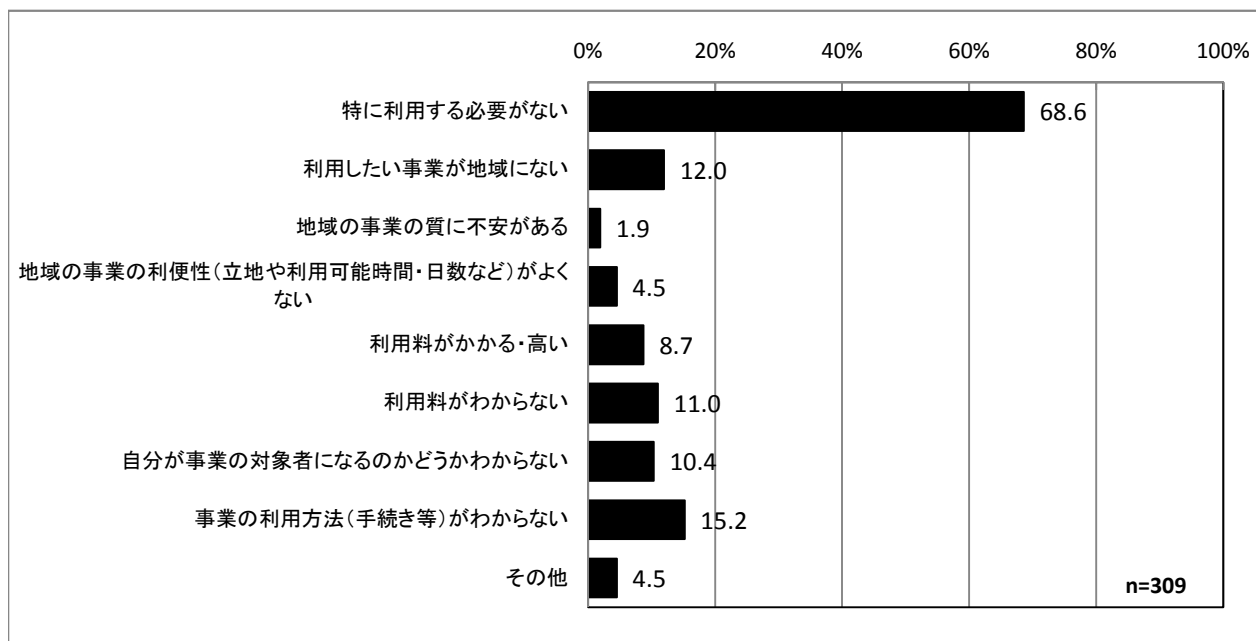
「利用していない」が77.1%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」18.7%、「その他」1.2%の順となっています。



問23で「5. 利用していない」と回答した方におうかがいします。

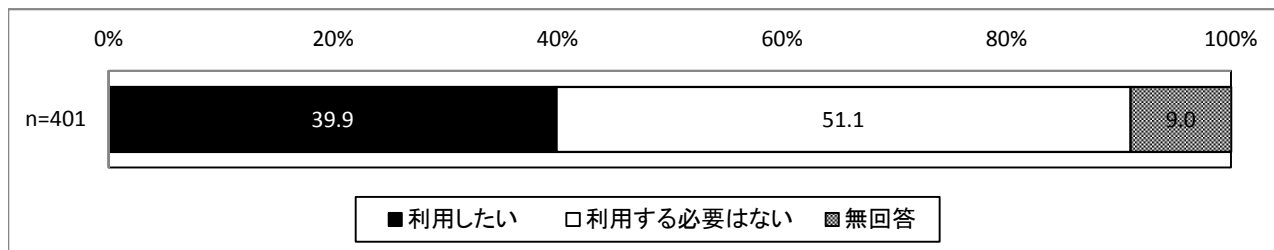
問23-1 現在利用していない理由はなんですか。(複数回答)

「特に利用する必要がない」が68.6%で最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」15.2%、「利用したい事業が地域にない」12.0%の順となっています。



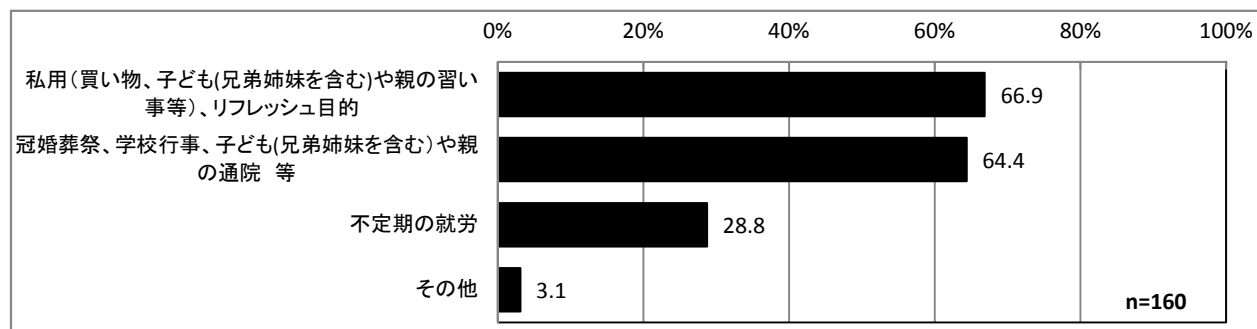
問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要があると思いますか。

「利用したい」が39.9%、「利用する必要はない」が51.1%となっています。



利用したい理由(複数回答)

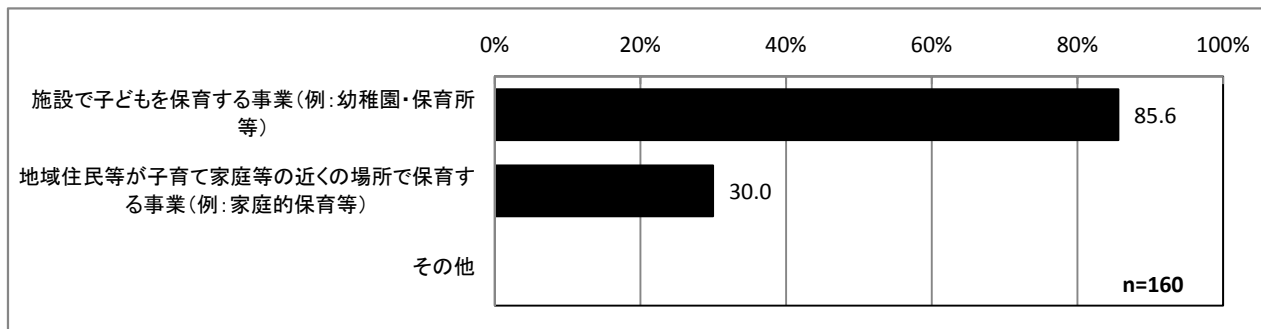
「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が66.9%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等」が64.4%、「不定期の就労」28.8%の順となっています。



問24で「1. 利用したい」と回答した方におうかがいします。

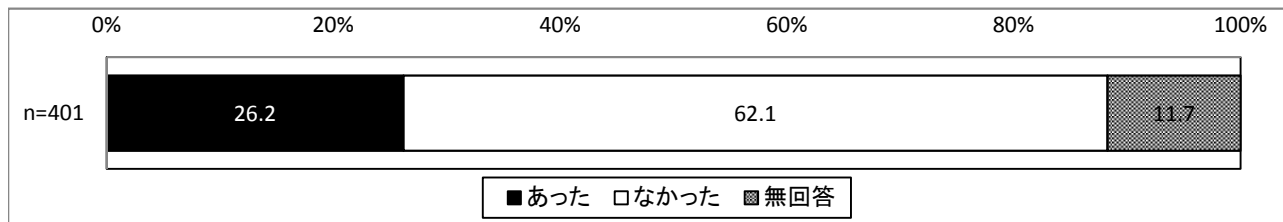
問24-1 問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(複数回答)

「施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)」が85.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:家庭的保育等)」30.0%となっています。



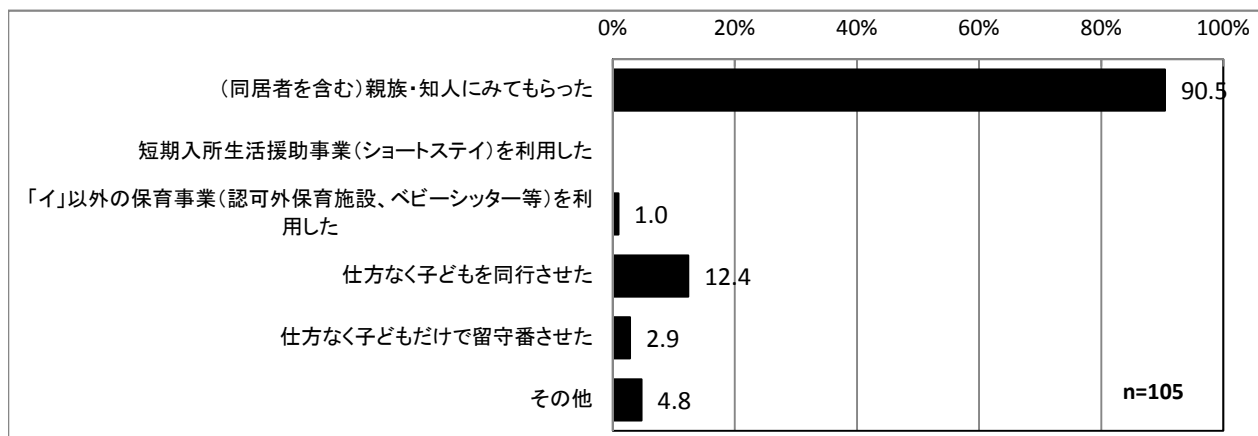
問25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)

「あった」が26.2%、「なかった」が62.1%となっています。



あった場合の1年間の対処方法(複数回答)

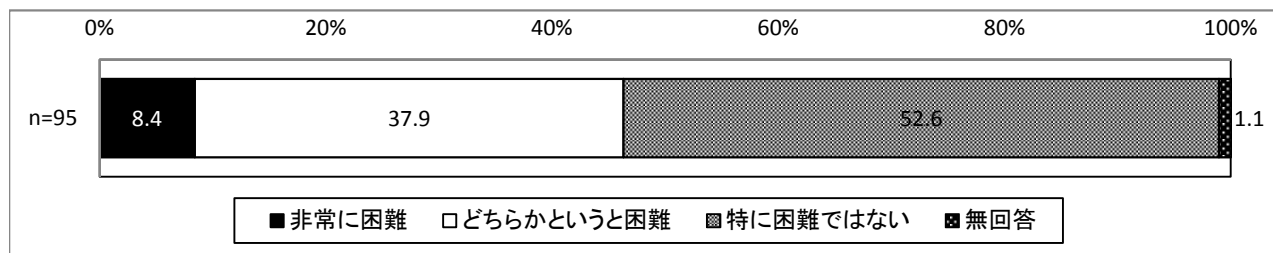
「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が90.5%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」12.4%、「その他」4.8%の順となっています。



問25で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答した方におうかがいします。

問25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。

「特に困難ではない」が52.6%で最も多く、次いで「どちらかというと困難」37.9%、「非常に困難」8.4%の順となっています。

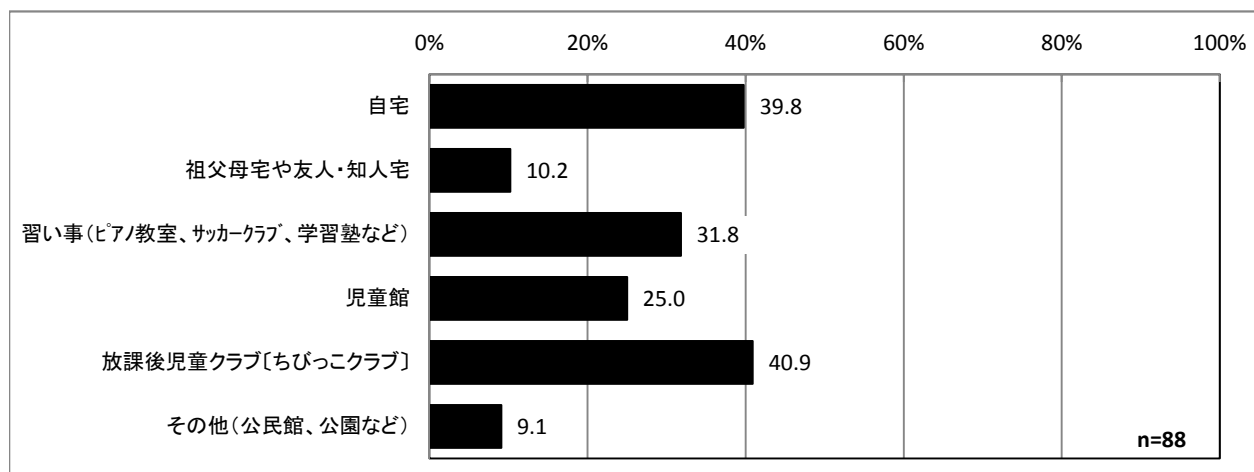


小学校就学後の放課後の過ごし方について

宛名のお子さんが5歳以上である方におうかがいします。

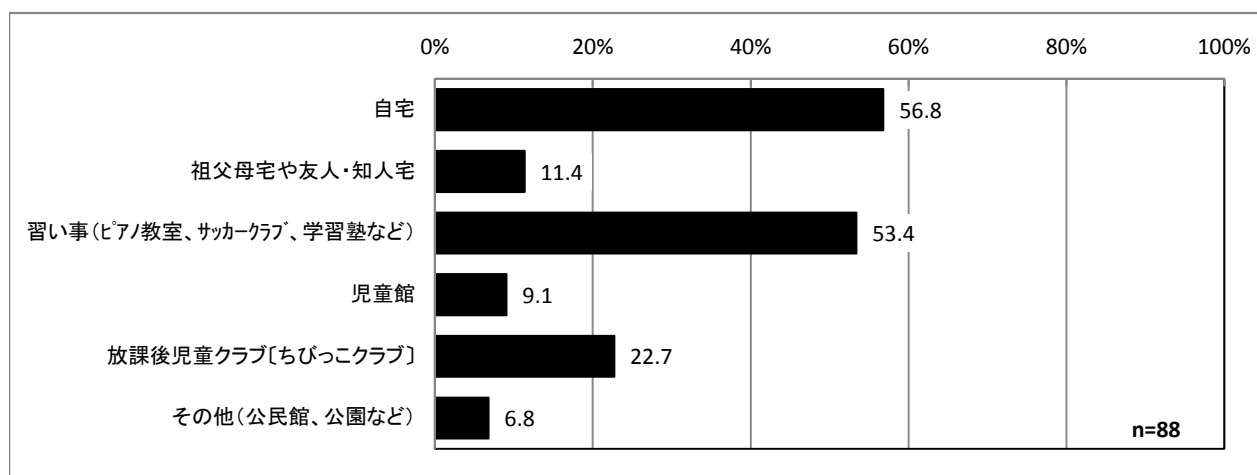
問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)

「放課後児童クラブ(ちびっこクラブ)」が40.9%で最も多く、次いで「自宅」39.8%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」31.8%の順となっています。



問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。だいたいの話になりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。(複数回答)

「自宅」が56.8%で最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」53.4%、「放課後児童クラブ(ちびっこクラブ)」22.7%の順となっています。

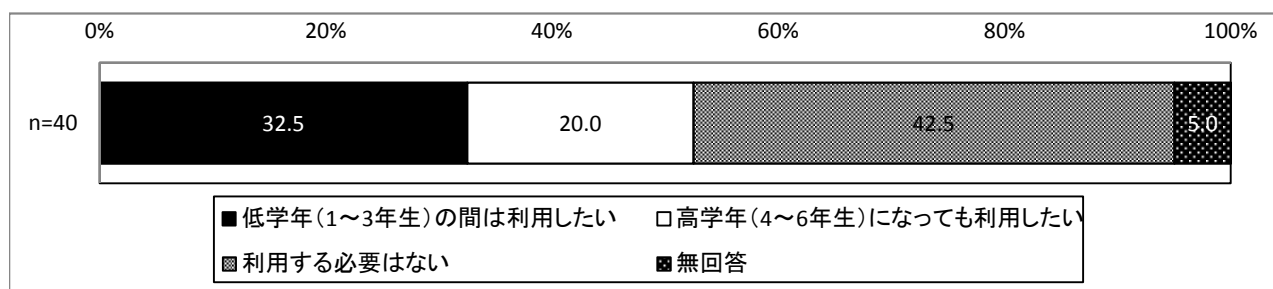


問26または問27で「5. 放課後児童クラブ[ちびっこクラブ]」と回答した方におうかがいします。

問28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

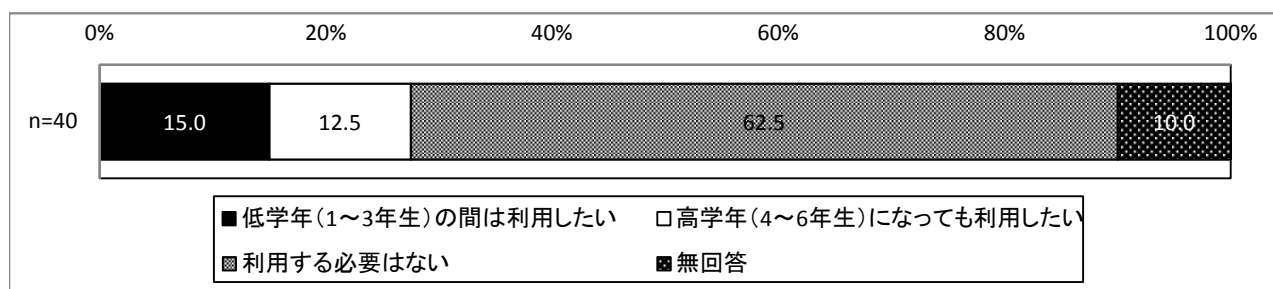
(1) 土曜日

「利用する必要はない」が42.5%で最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が32.5%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」20.0%の順となっています。



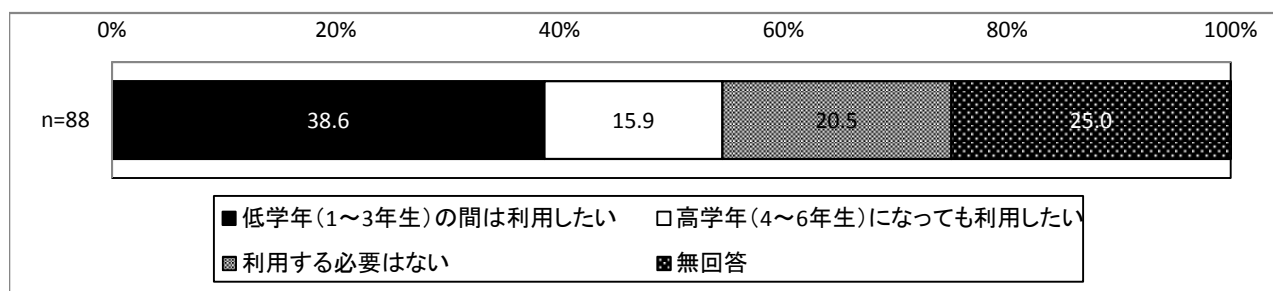
(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」が62.5%で最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」15.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」12.5%の順となっています。



問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が38.6%で最も多く、次いで「利用する必要はない」20.5%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」15.9%の順となっています。

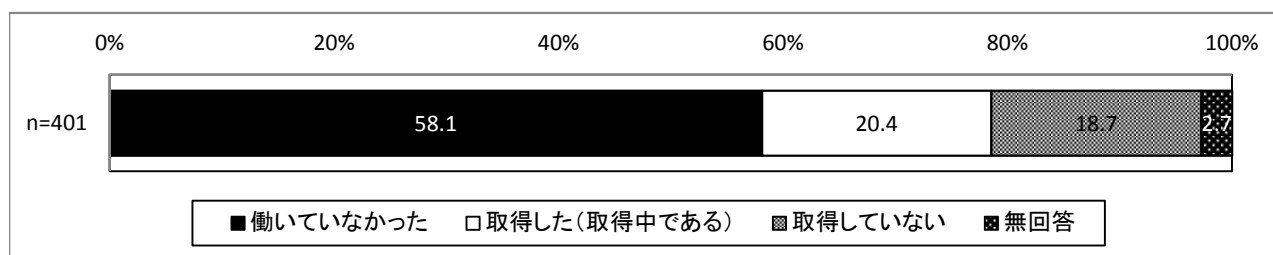


育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

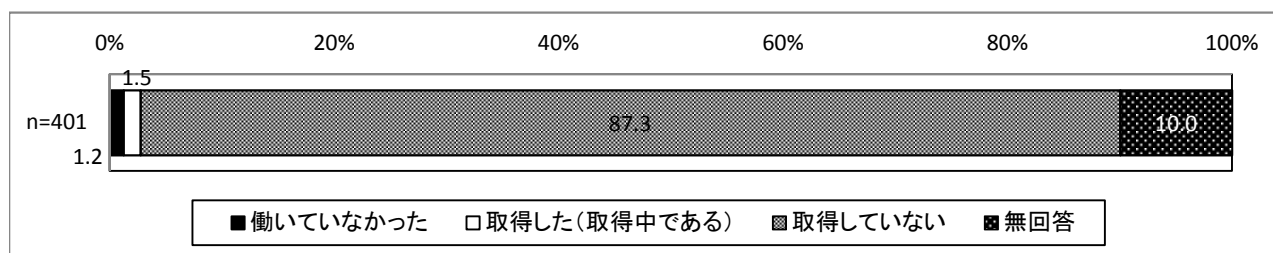
(1) 母親

「働いていなかった」が58.1%で最も多く、次いで「取得した(取得中である)」20.4%、「取得していない」18.7%の順となっています。



(2) 父親

「取得していない」が87.3%で最も多く、次いで「取得した(取得中である)」1.5%、「働いていなかった」1.2%の順となっています。

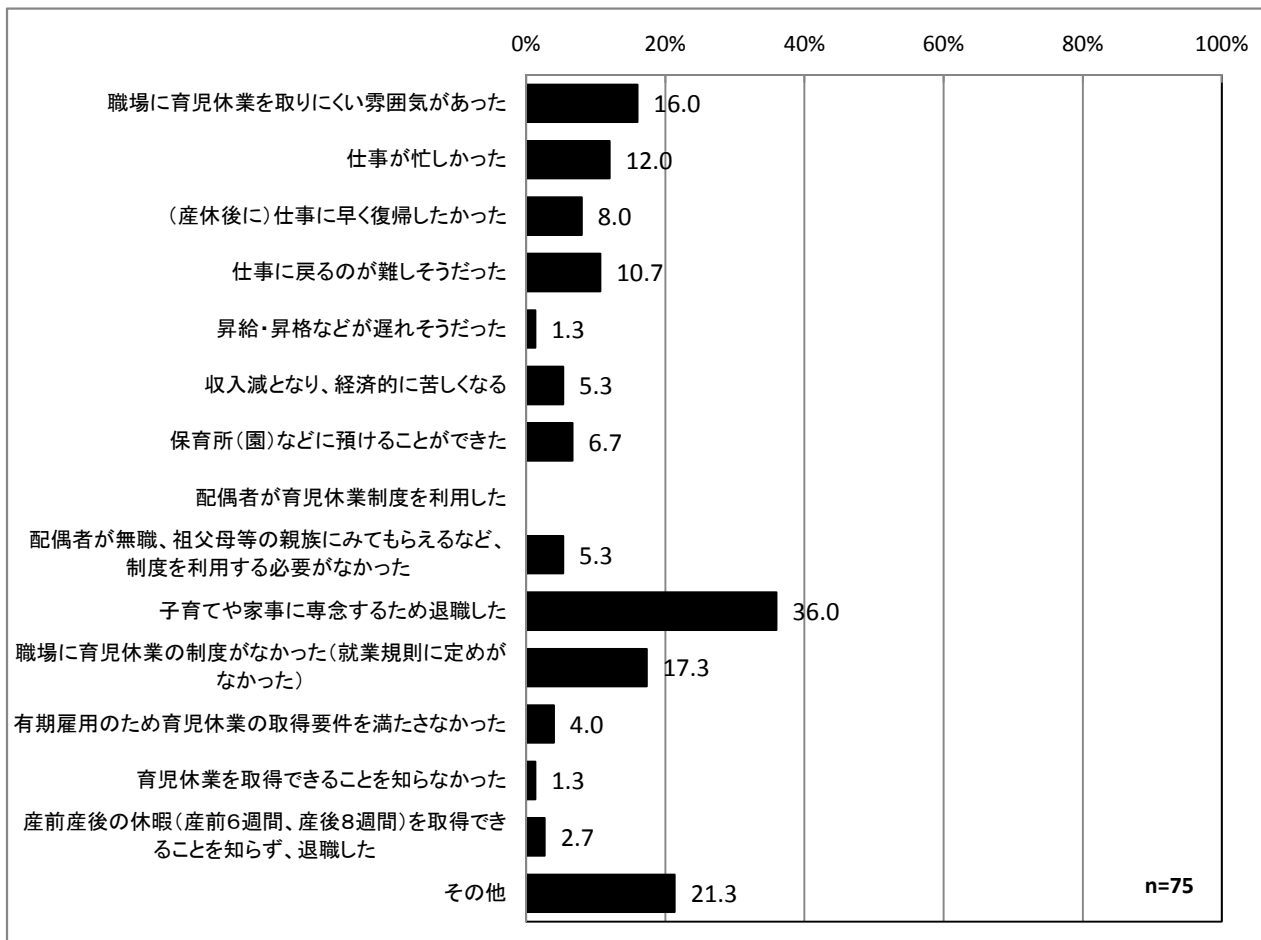


問30で母親、父親どちらかで「3. 取得していない」と回答した方におうかがいします。

取得していない理由は何ですか。（「母親」「父親」欄の該当する項目、複数回答）

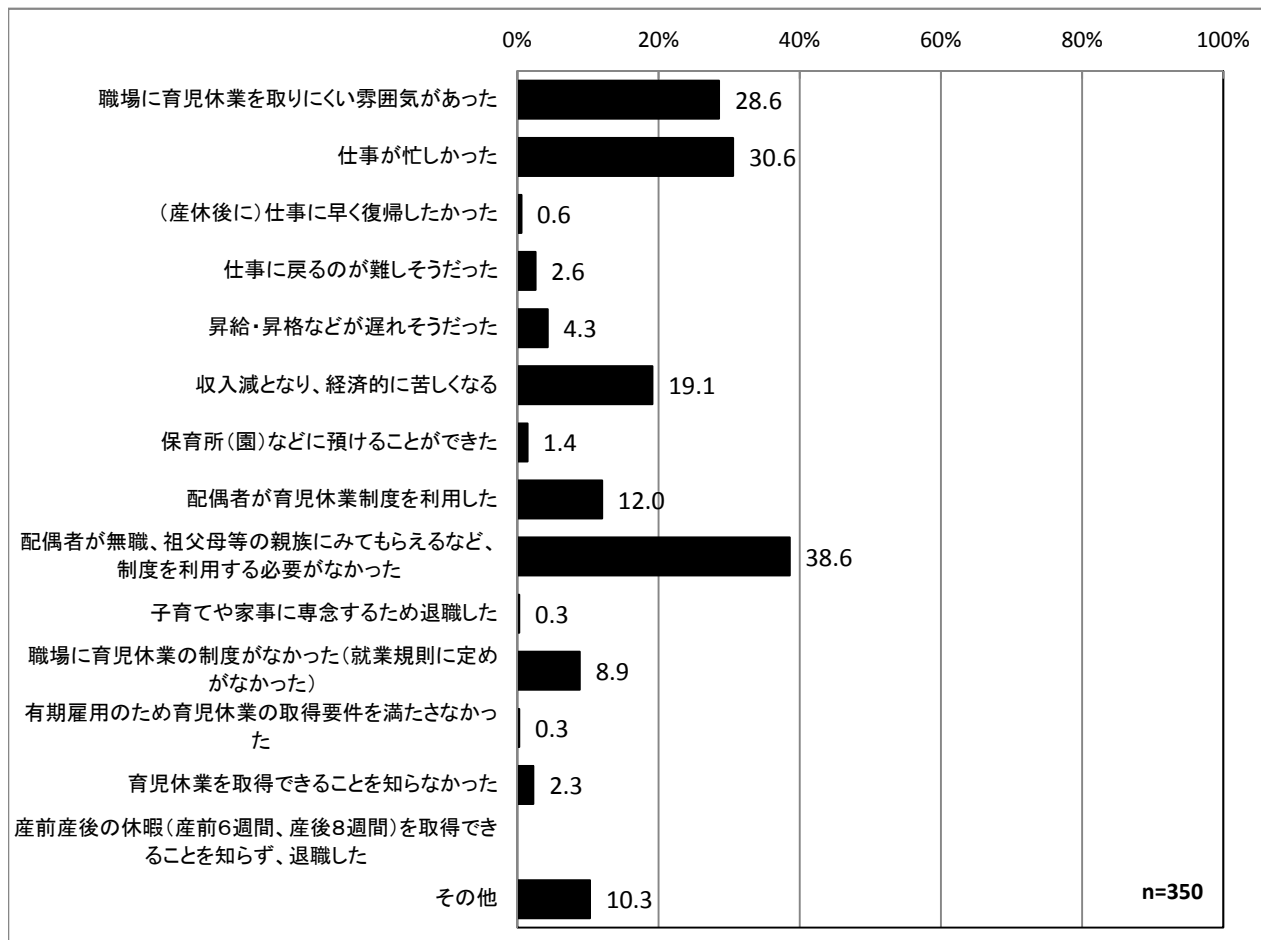
(1) 母親

「子育てや家事に専念するため退職した」36.0%で最も多く、次いで「その他」21.3%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が17.3%の順となっています。



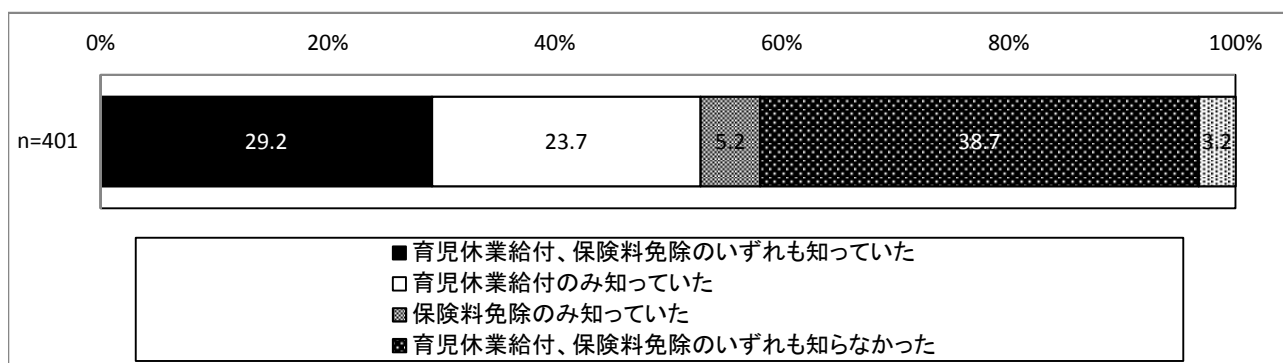
(2) 父親

「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が38.6%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」30.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」28.6%の順となっています。



問30-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が38.7%で最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」29.2%、「育児休業給付のみ知っていた」23.7%の順となっています。

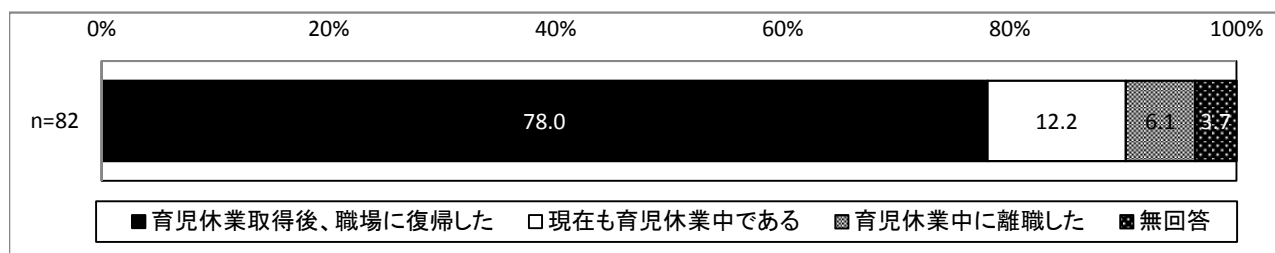


問30で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方におうかがいします。

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

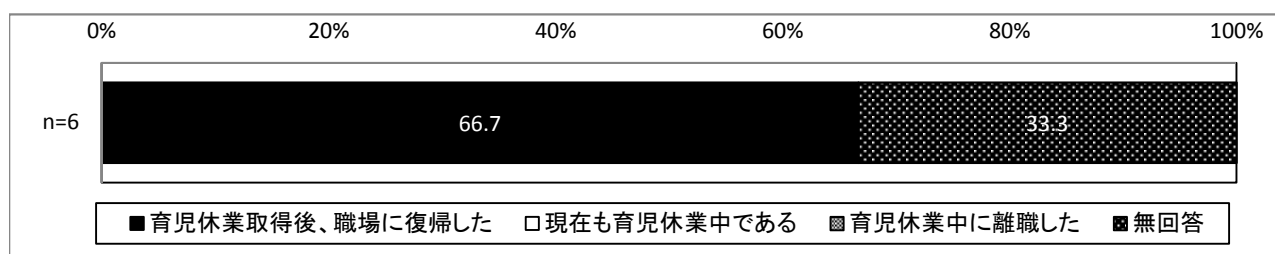
(1)母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が78.0%で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」12.2%、「育児休業中に離職した」6.1%の順となっています。



(2)父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が66.7%となっています。

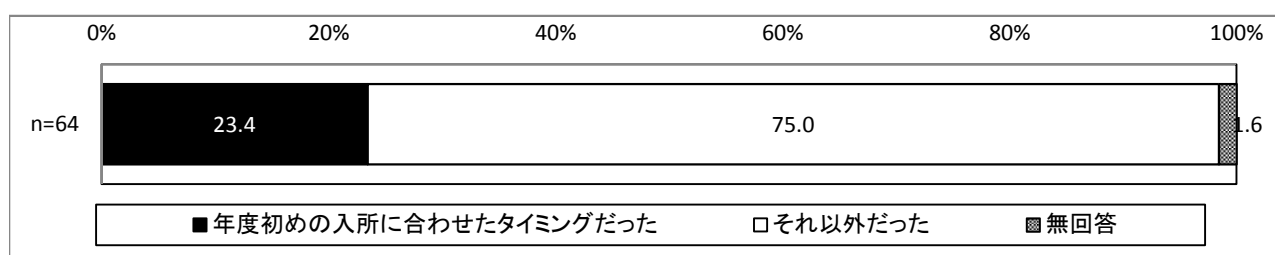


問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におうかがいします。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

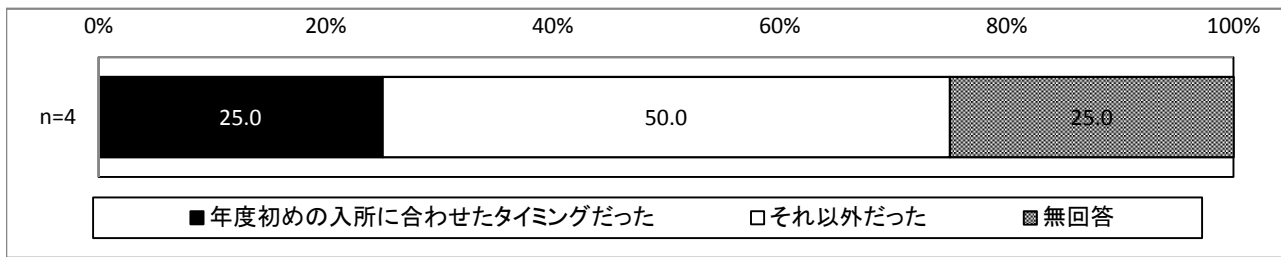
(1)母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が23.4%、「それ以外だった」が75.0%となっています。



(2) 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が25.0%、「それ以外だった」が50.0%となっています。



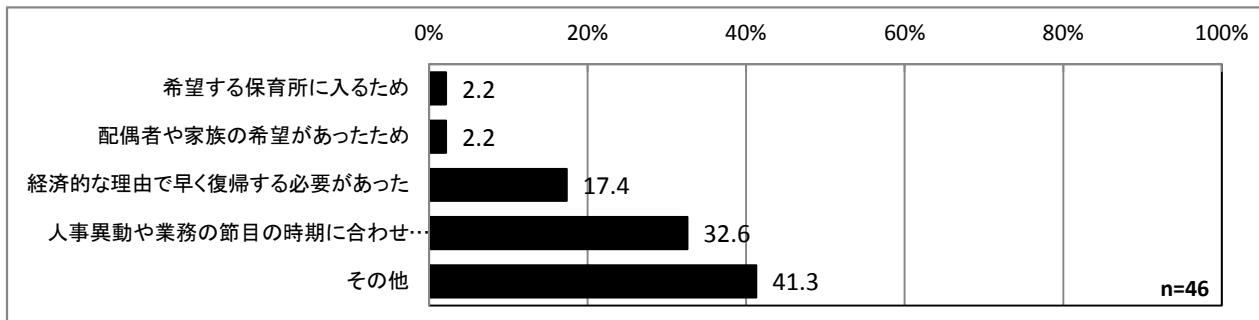
問30-4で「実際の復帰と希望が異なる方」におうかがいします。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておうかがいします。

「希望」より早く復帰した方(複数回答)

(1) 母親

「その他」が41.3%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」32.6%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」17.4%の順となっています。



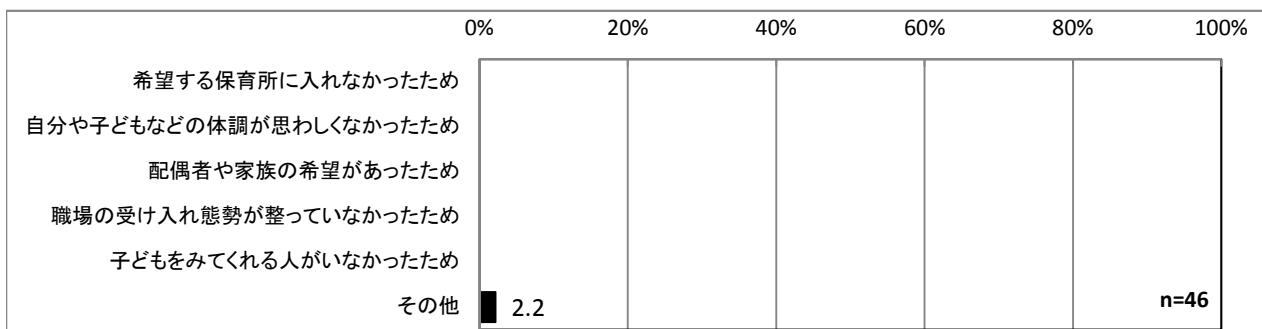
(2) 父親

回答がありません。

「希望」より遅く復帰した方(複数回答)

(1) 母親

「その他」が2.2%となっています。



(2) 父親

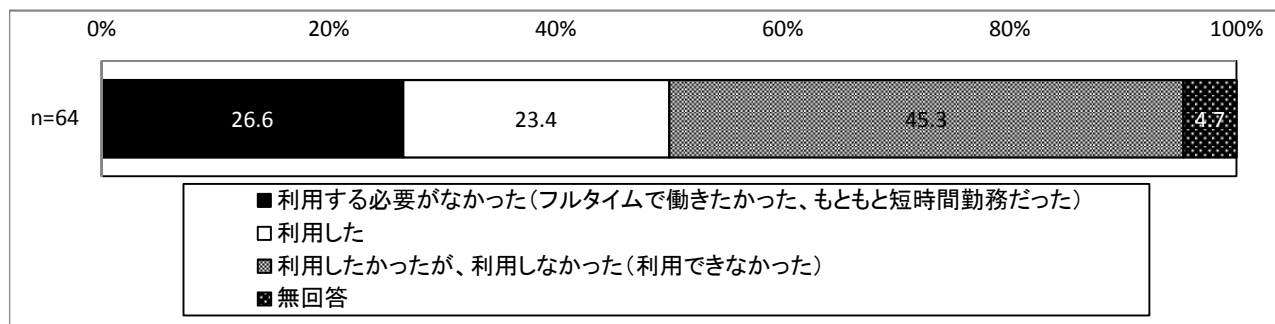
回答がありません。

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におうかがいします。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

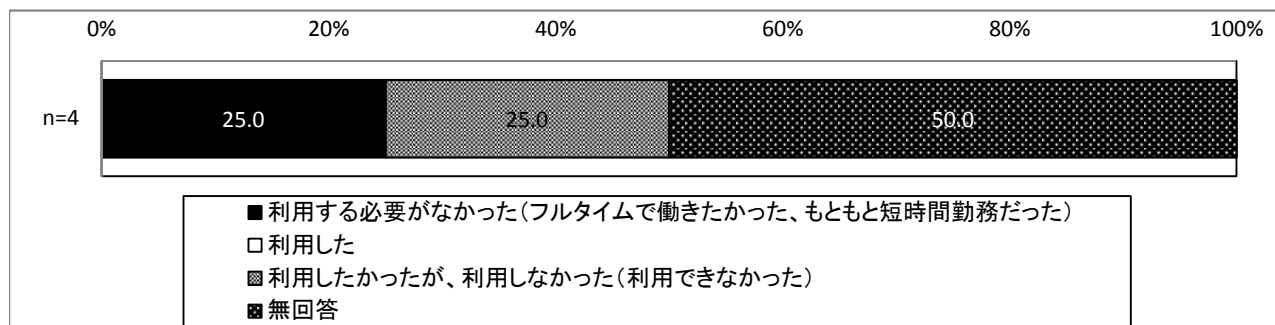
(1) 母親

「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が45.3%で最も多く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」26.6%、「利用した」23.4%の順となっています。



(2) 父親

「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」 「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が25.0%となっています。

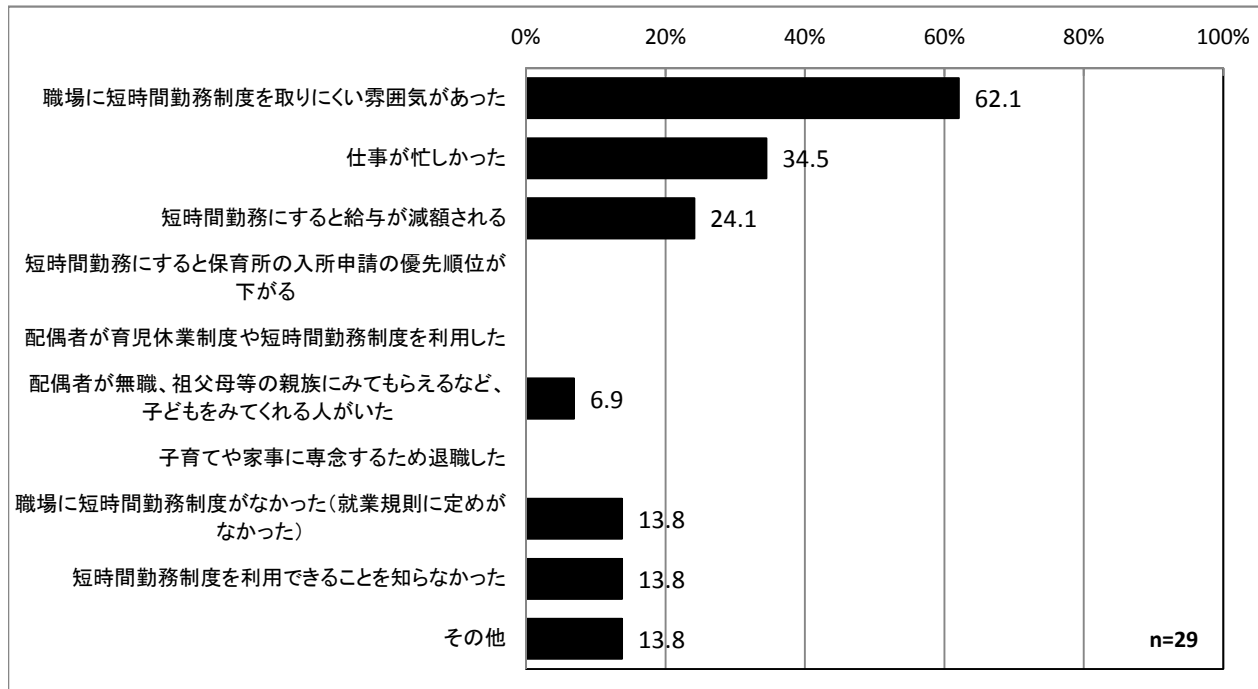


問30-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方におうかがいします

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由はなんですか。(複数回答)

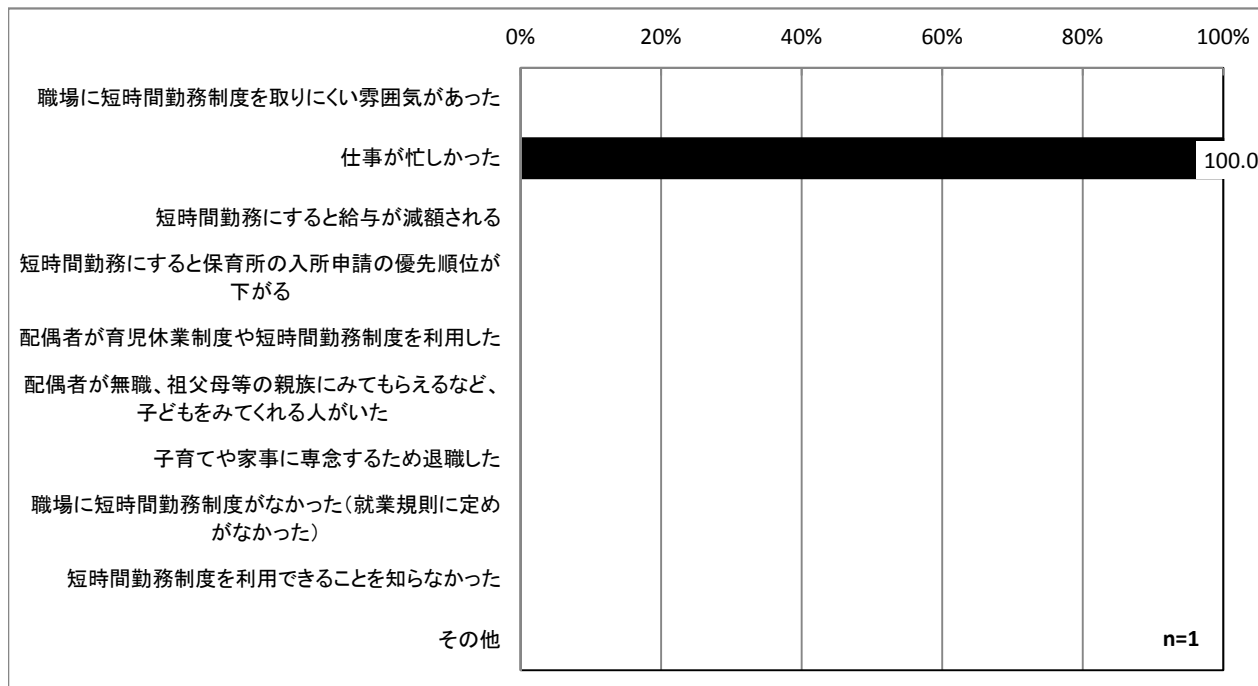
(1)母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が62.1%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」34.5%、「短時間勤務にすると給与が減額される」24.1%の順となっています。



(2)父親

「仕事が忙しかった」が100.0%となっています。

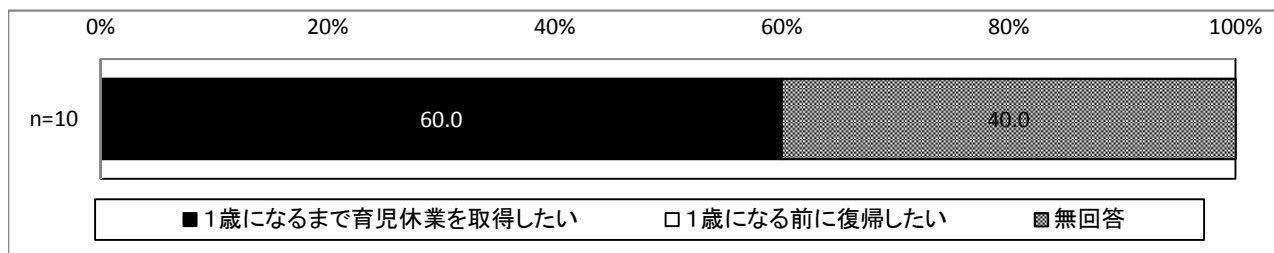


問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方におうかがいします。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

(1)母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が60.0%となっています。

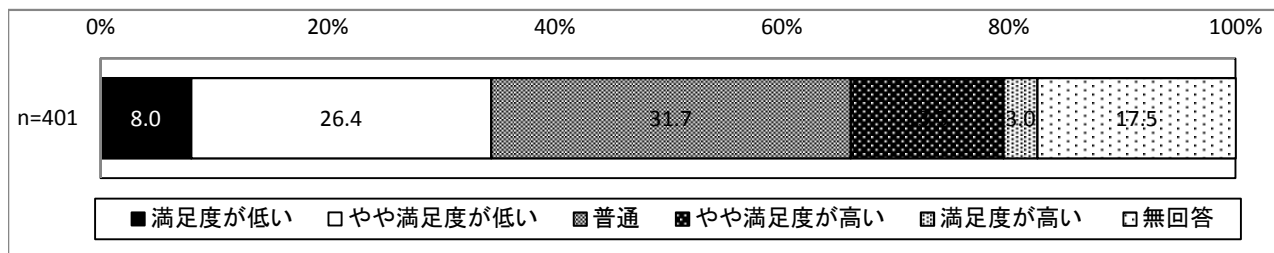


(2)父親

回答がありません。

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお聞きします。

「普通3」が31.7%で最も多く、次いで「やや満足度が低い2」26.4%、「やや満足度が高い4」13.5%の順となっています。

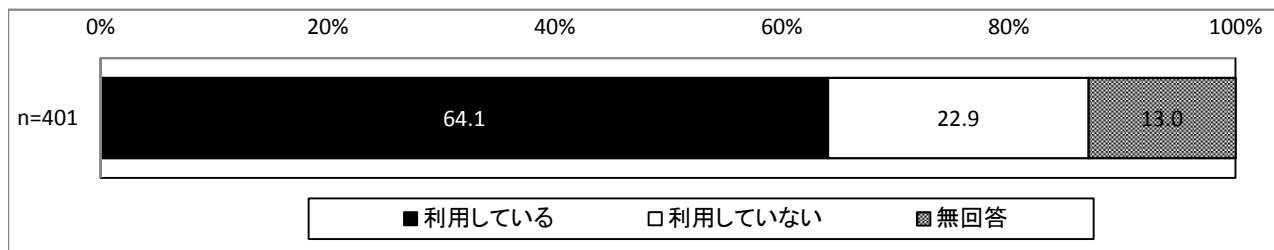


「広域利用に関するアンケート調査」

Q1 現在利用している施設及び今後利用したい施設についておうかがいします。

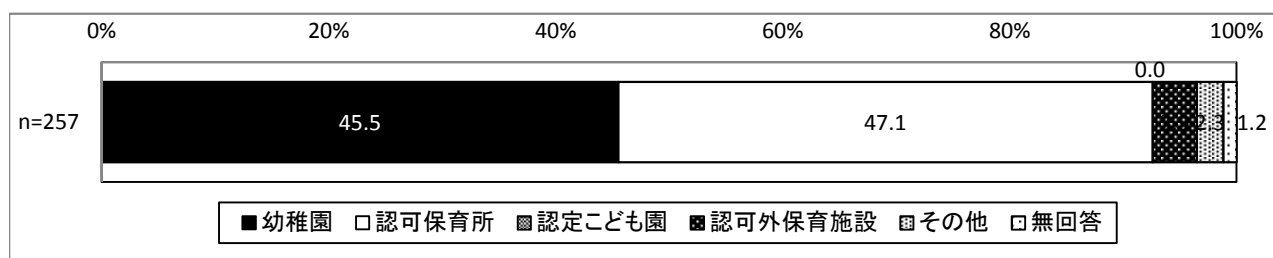
現在

「利用している」が64.1%、「利用していない」が22.9%となっています。



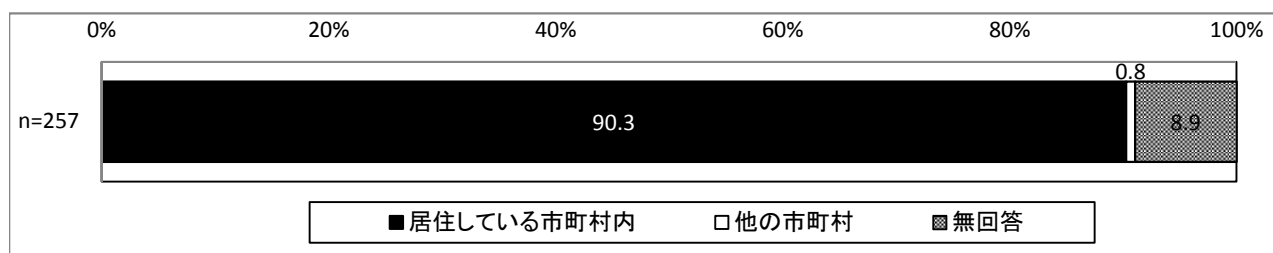
利用している施設

「認可保育所」が47.1%で最も多く、次いで「幼稚園」45.5%、「認可外保育施設」3.9%の順となっています。



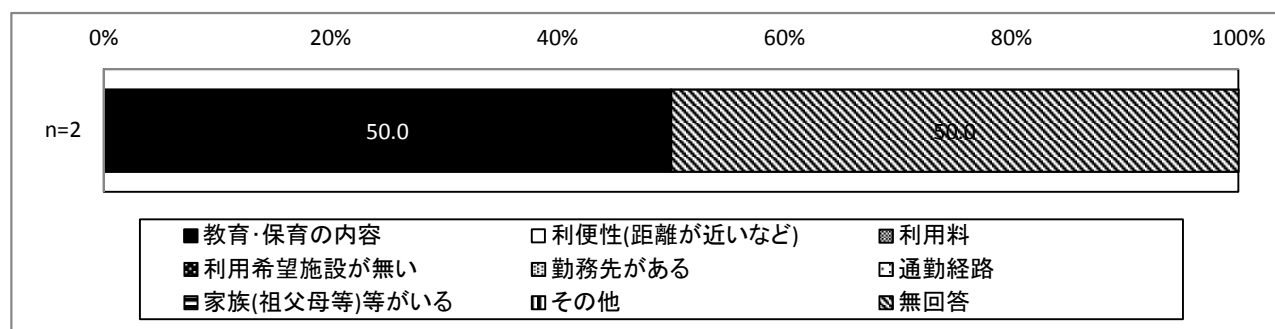
施設の所在地

「居住している市町村内」が90.3%、「他の市町村」が0.8%となっています。



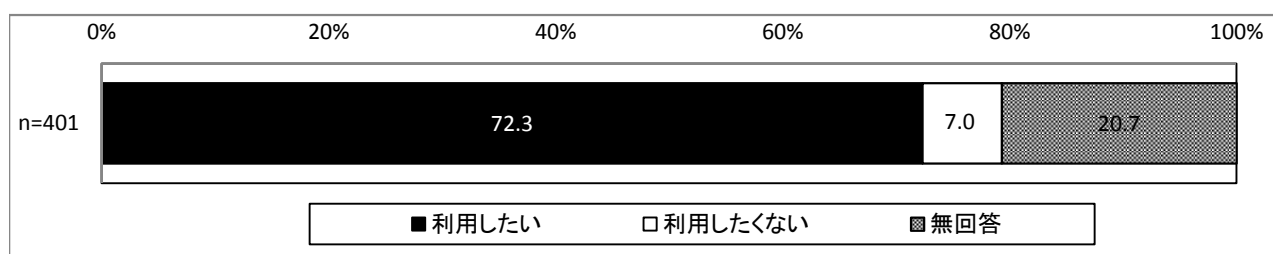
他市町村で利用している最も大きい理由

「教育・保育の内容」が50.0%となっています。



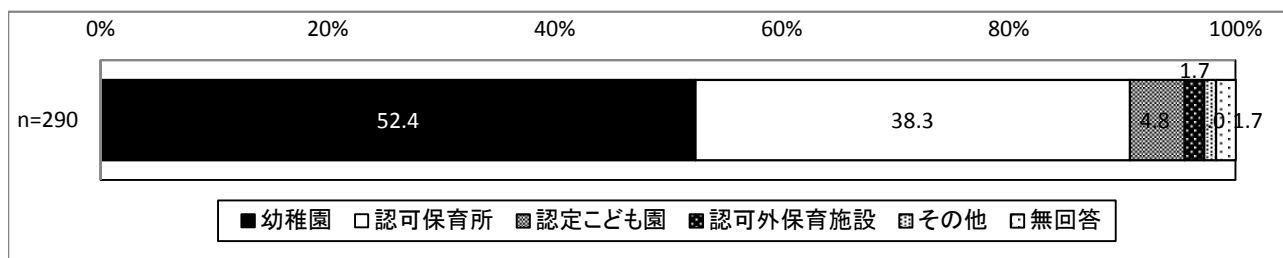
今後

「利用したい」が72.3%、「利用したくない」が7.0%となっています。



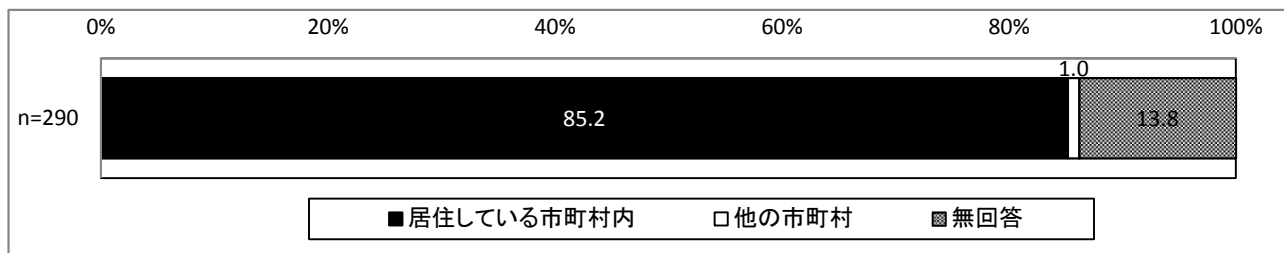
利用を希望する施設

「幼稚園」が52.4%で最も多く、次いで「認可保育所」38.3%、「認定こども園」4.8%の順となっています。



施設の所在地

「居住している市町村内」が85.2%、「他の市町村」が1.0%となっています。



他市町村を希望する最も大きい理由

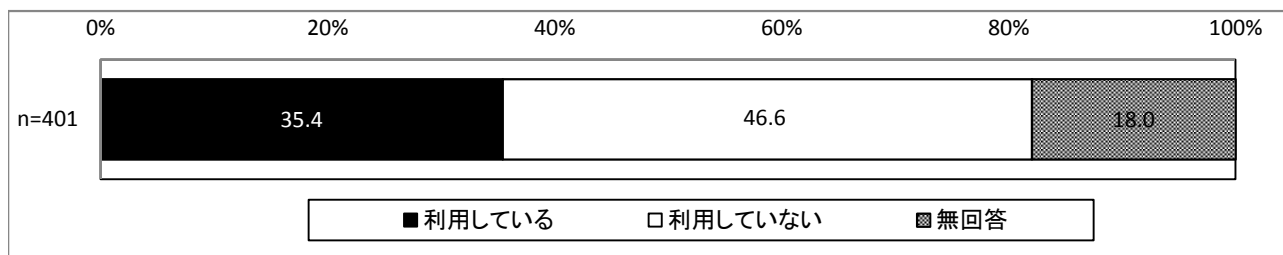
回答がありません。

Q2 現在利用している(したことがある)及び今後利用したい子育て支援事業についておうかがいします。

地域子育て支援拠点事業

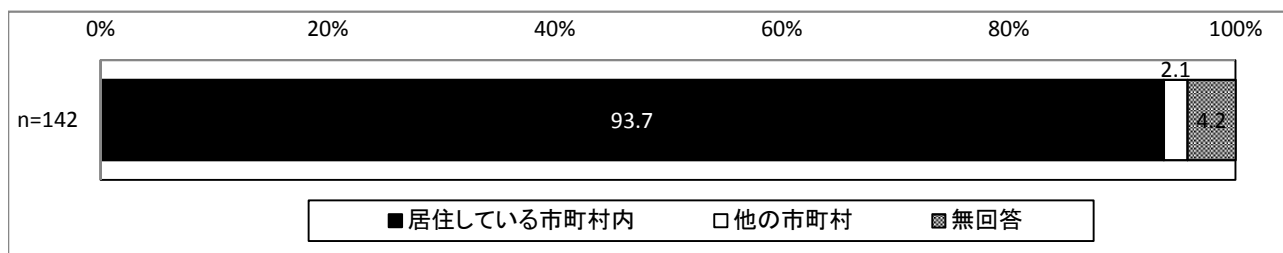
現在

「利用している」が35.4%、「利用していない」が46.6%となっています。



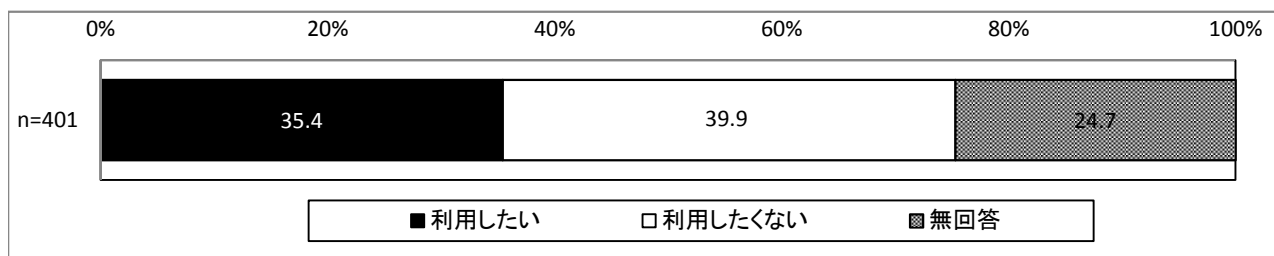
利用している場所

「居住している市町村内」が93.7%、「他の市町村」が2.1%となっています。



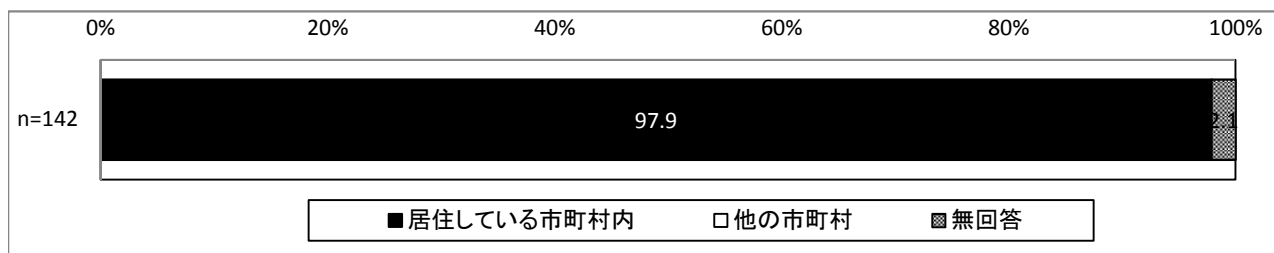
今後

「利用したい」が35.4%、「利用したくない」が39.9%となっています。



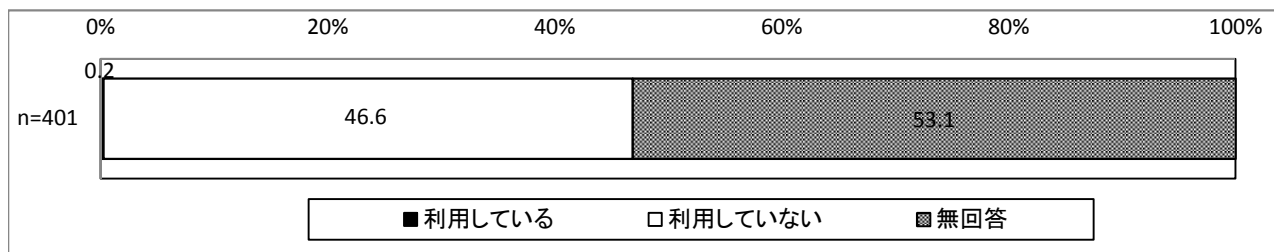
利用したい場所

「居住している市町村内」が97.9%となっています。



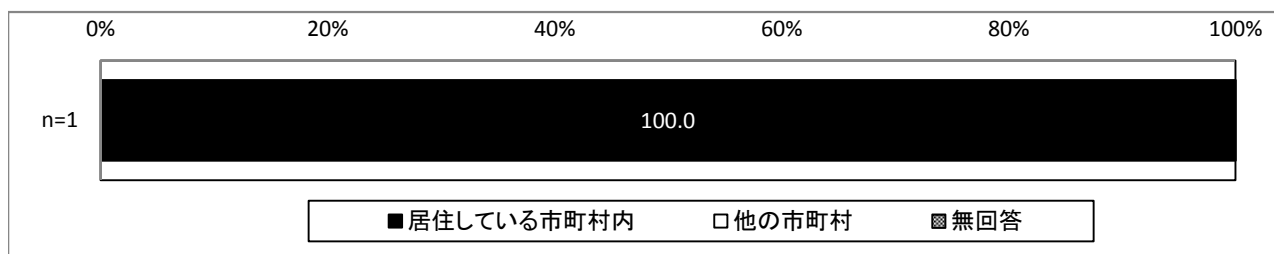
子育て短期支援事業 現在

「利用している」が0.2%、「利用していない」が46.6%となっています。



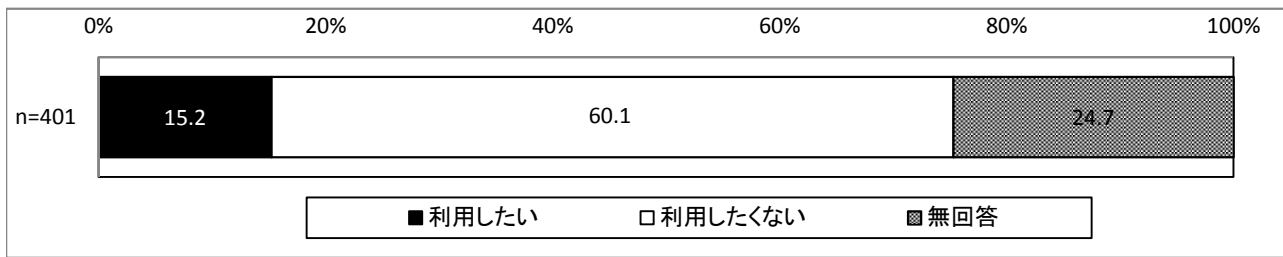
利用している場所

「居住している市町村内」が100.0%となっています。



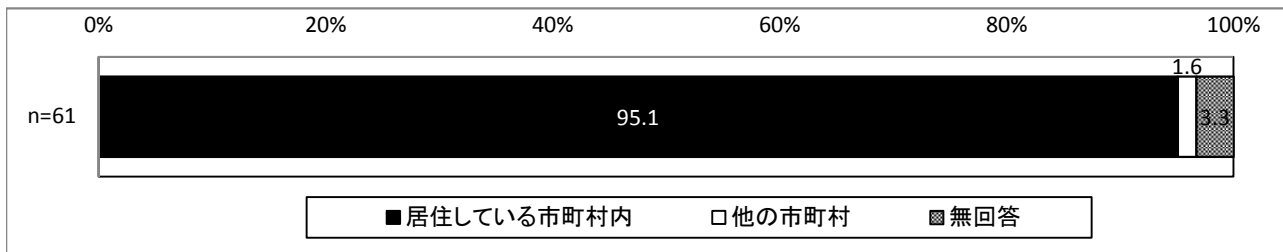
今後

「利用したい」が15.2%、「利用したくない」が60.1%となっています。



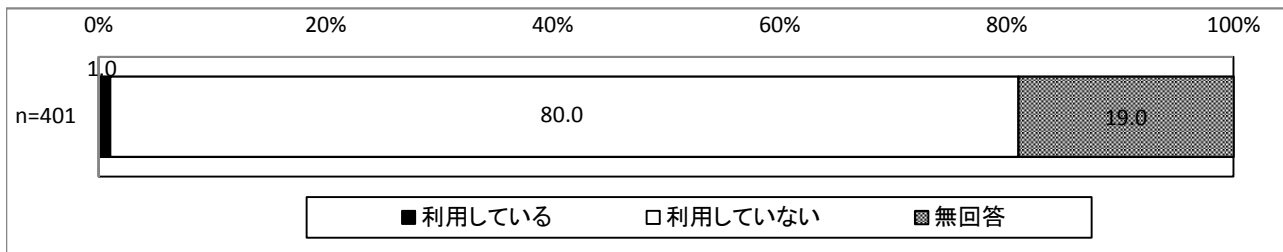
利用したい場所

「居住している市町村内」が95.1%、「他の市町村」が1.6%となっています。



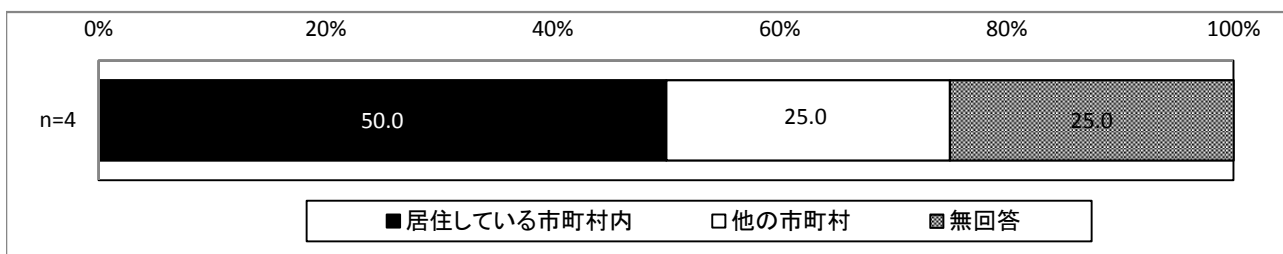
ファミリー・サポート・センター 現在

「利用している」が1.0%、「利用していない」が80.0%となっています。



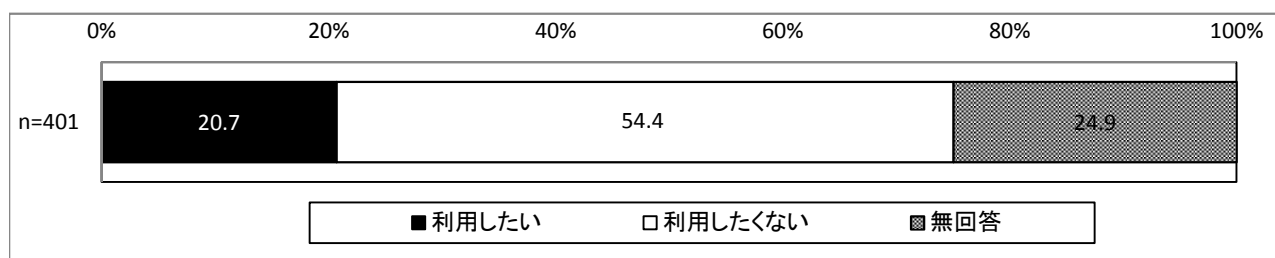
利用している場所

「居住している市町村内」が50.0%、「他の市町村」が25.0%となっています。



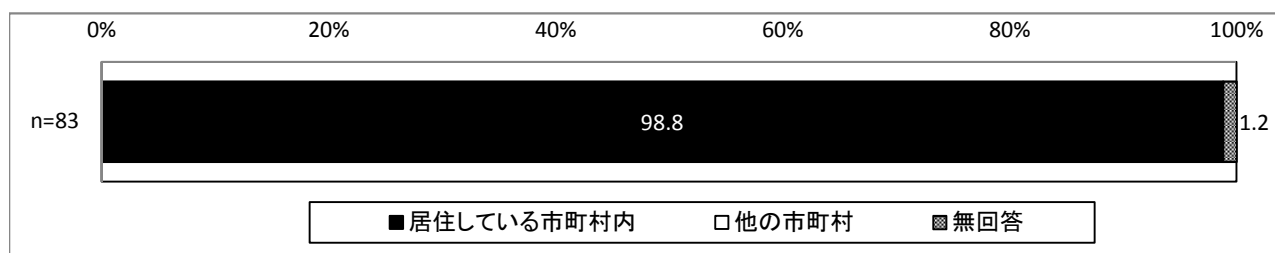
今後

「利用したい」が20.7%、「利用したくない」が54.4%となっています。



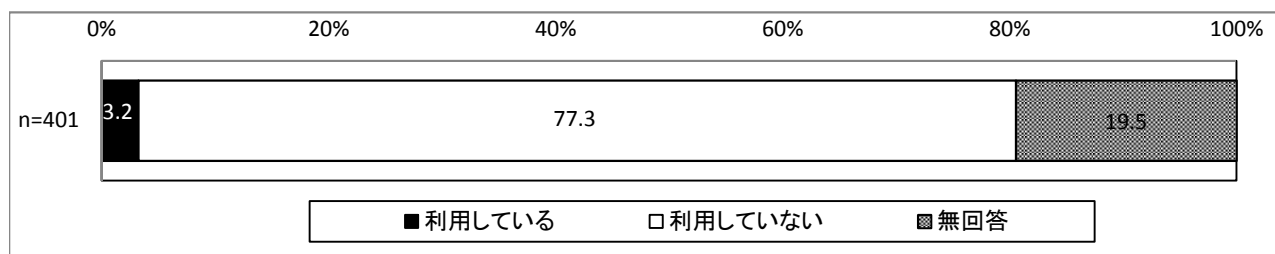
利用したい場所

「居住している市町村内」が98.8%となっています。



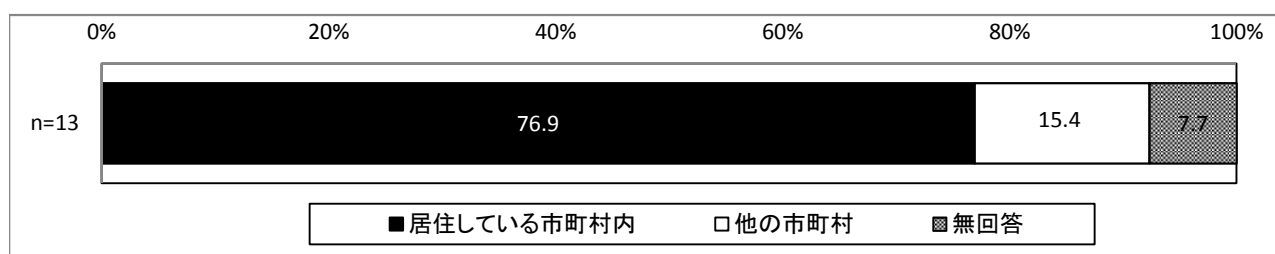
一時預かり 現在

「利用している」が3.2%、「利用していない」が77.3%となっています。



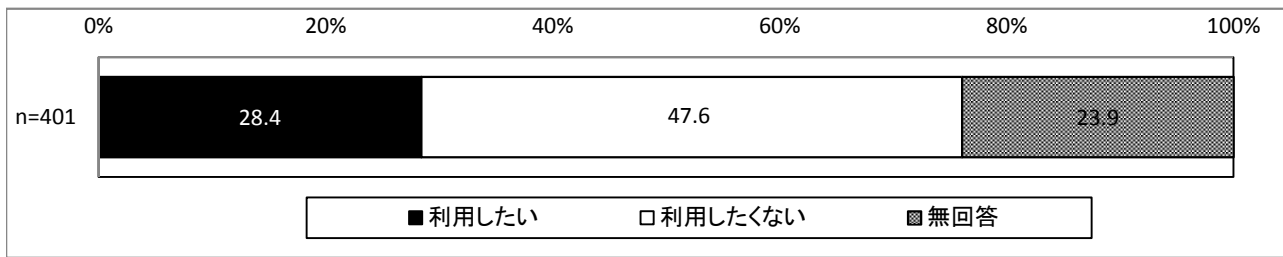
利用している場所

「居住している市町村内」が76.9%、「他の市町村」が15.4%となっています。



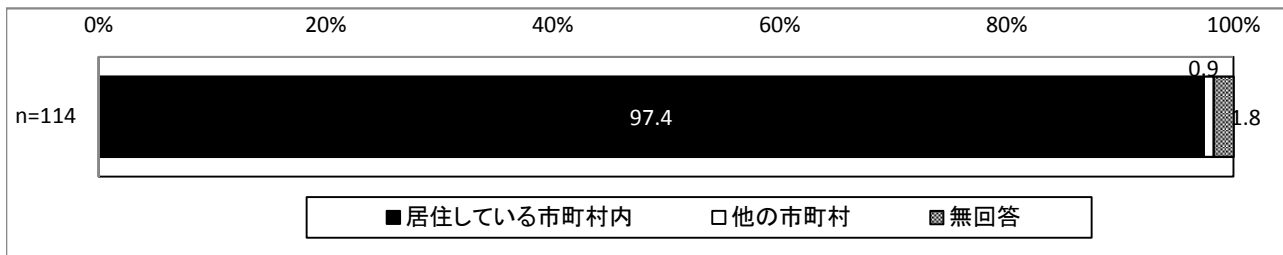
今後

「利用したい」が28.4%、「利用したくない」が47.6%となっています。



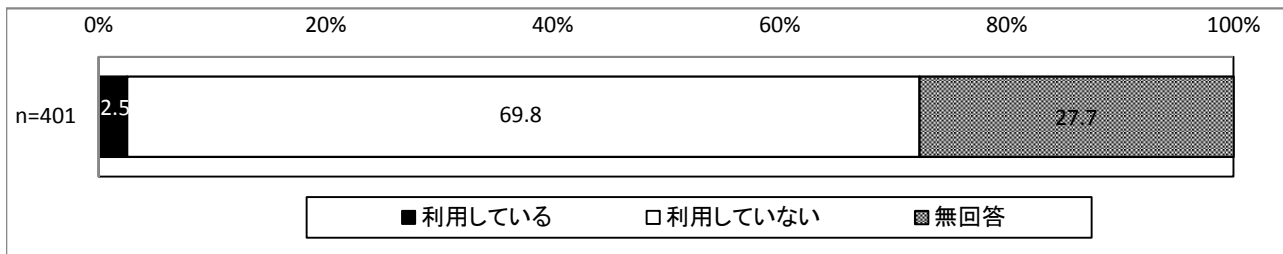
利用したい場所

「居住している市町村内」が97.4%、「他の市町村」が0.9%となっています。



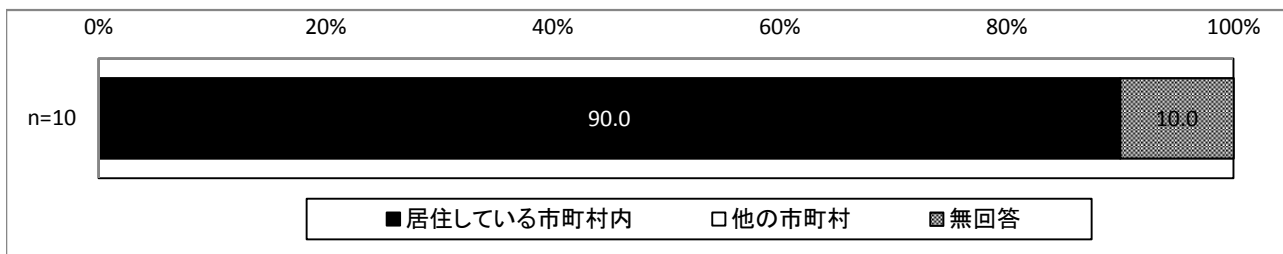
休日保育 現在

「利用している」が2.5%、「利用していない」が69.8%となっています。



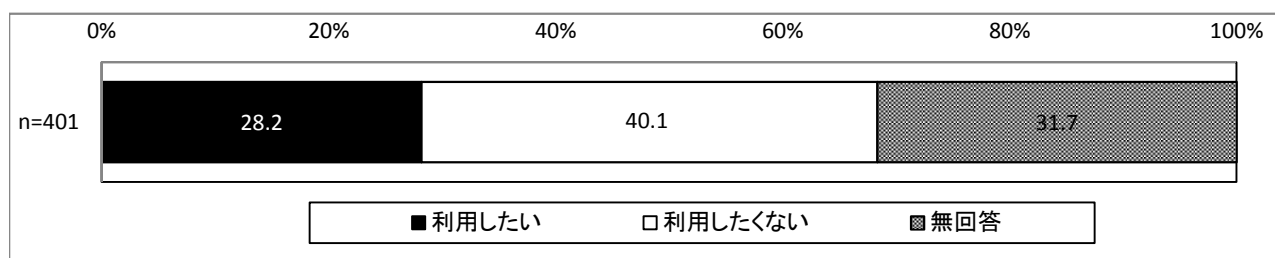
利用している場所

「居住している市町村内」が90.0%となっています。



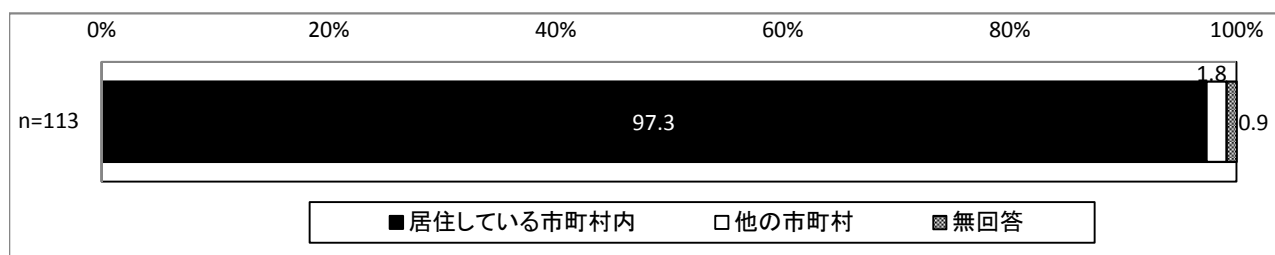
今後

「利用したい」が28.2%、「利用したくない」が40.1%となっています。



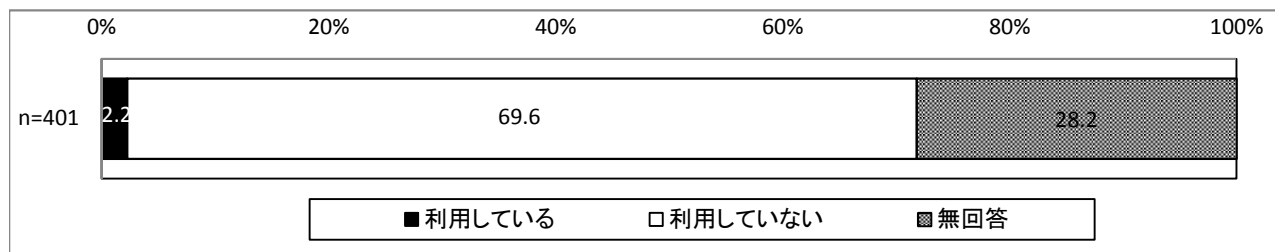
利用したい場所

「居住している市町村内」が97.3%、「他の市町村」が1.8%となっています。



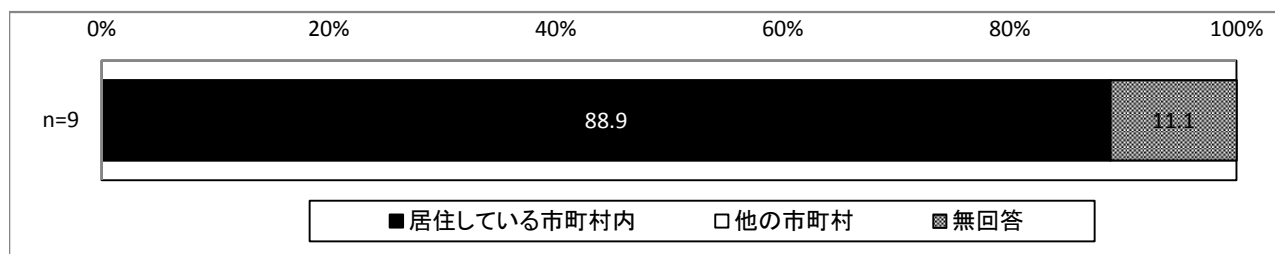
病児・病後児保育 現在

「利用している」が2.2%、「利用していない」が69.6%となっています。



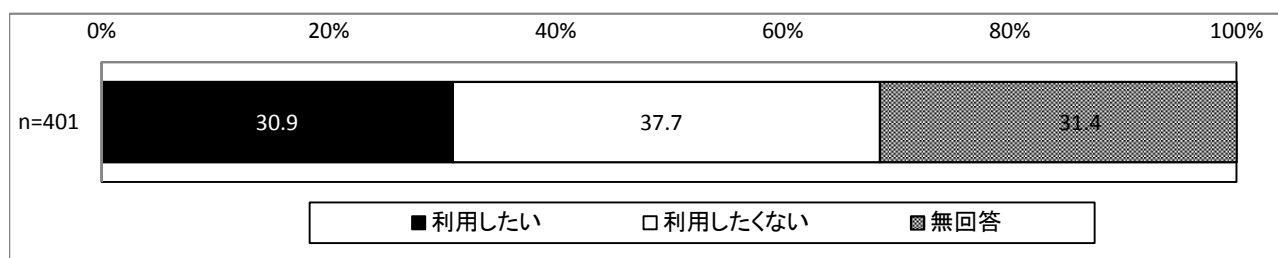
利用している場所

「居住している市町村内」が88.9%となっています。



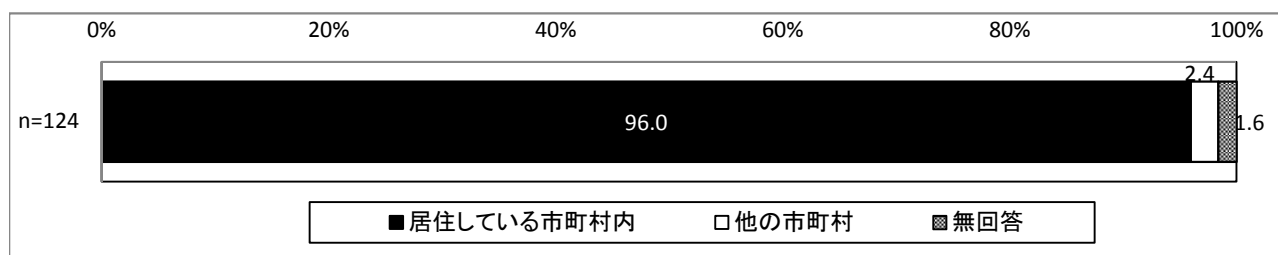
今後

「利用したい」が30.9%、「利用したくない」が37.7%となっています。



利用したい場所

「居住している市町村内」が96.0%、「他の市町村」が2.4%となっています。



見込量の算出

子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート調査の結果等に基づき、平成26年度に策定する「遠軽町子ども・子育て支援事業計画」にて示す、教育・保育給付及び地域子ども子育て支援事業の見込量の参考にするための各種サービス見込み量算出を行います。

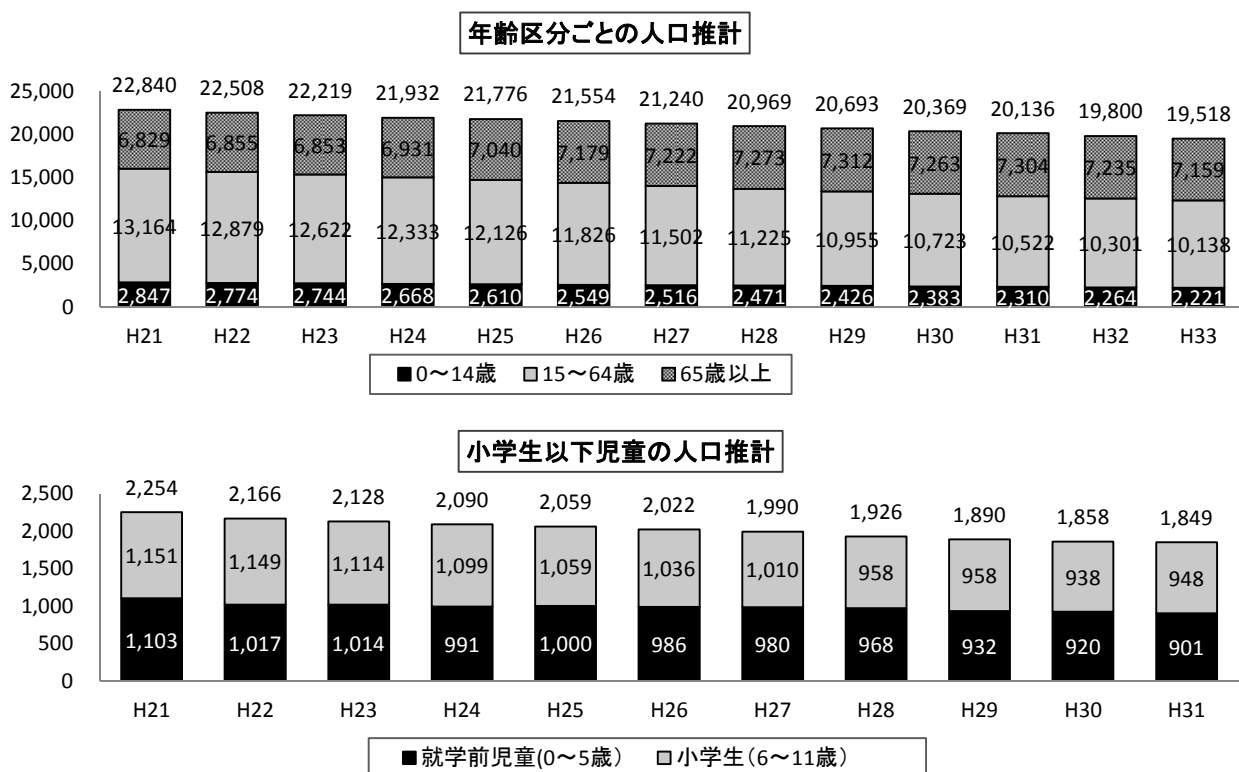
見込量算出の基本的な考え方

平成27年度～平成31年度までの児童の推計人数に、アンケート調査の結果からもとめられる家族類型（各家族の働き方）やサービスごとの利用率等をもとに各種サービスの見込量を算出します。

遠軽町の人口推計

遠軽町の人口実績は、平成21年の22,840人から平成25年の21,776人と年々減少傾向となっています。平成26年度以降の人口推計に関しても、年々減少傾向となっています。

小学生以下児童の人口実績・人口推計に関しても、就学前児童、小学生児童ともに減少傾向にあります。



H21～H25は、住民基本台帳による人口実績

H26～H31は、コーホート法による人口推計

見込量算出に使用する遠軽町の児童推計人口は、下記のとおりです。

年齢	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	152	148	143	140	137
1歳	161	157	153	148	145
2歳	160	160	156	152	147
3歳	157	161	161	157	153
4歳	187	158	163	163	159
5歳	163	184	156	160	160
6歳	160	160	181	153	157
7歳	165	157	157	178	150
8歳	144	165	157	157	178
9歳	167	140	161	153	153
10歳	172	164	138	159	151
11歳	202	172	164	138	159

家族類型(現状)

アンケート調査の父親・母親の現在の働き方の調査結果から、各家族の状況を働き型ごとに家族類型として分類します。

【家族類型の概要】

TYPE	分類名	概要
A	ひとり親家庭	○配偶者がいない家庭。
B	フルタイム ×フルタイム	○父親、母親ともにフルタイムで働いている家庭。
C	フルタイム ×パートタイム	○父親、母親どちらかがフルタイムで働いており、もう片方がパートタイムで働いている家庭。 ○パートタイムの就労時間が長い家庭。
C'	フルタイム ×パートタイム2	○父親、母親どちらかがフルタイムで働いており、もう片方がパートタイムで働いている家庭。 ○パートタイムの就労時間が短い家庭。
D	専業主婦（夫）	○父親、母親どちらかがフルタイムかパートタイムで働いており、もう片方が無業の家庭。
E	パートタイム ×パートタイム	○父親、母親どちらもパートタイムで働いている家庭。 ○パートタイムの就労時間が長い家庭。
E'	パートタイム ×パートタイム2	○父親、母親どちらもパートタイムで働いている家庭。 ○パートタイムの就労時間が短い家庭。
F	無業×無業	○父親、母親ともに働いていない家庭。

潜在的な家族類型

家族類型(現状)をもとに、今後の就労希望などの調査回答により潜在的な家族類型を算出します。

なお、国の指針により、子どものいる父親の大半がフルタイム就労であり、就労状況の変更希望も少ない事を踏まえ母親の働き方の希望をもとに潜在的家族類型に分類します。

【潜在的家族類型の分類】

TYPE	分類名	算出対象等
A	ひとり親家庭	
B	フルタイム ×フルタイム	○母親が無業やパートタイムで、今後フルタイムへの変更を希望している家庭など。
C	フルタイム ×パートタイム	○専業主婦のうち母親が無業から、今後パートタイムへの変更を希望している家庭などを追加。 ○希望するパートタイムの就労時間が長い家庭。
C'	フルタイム ×パートタイム2	○専業主婦のうち母親が無業から、今後パートタイムへの変更を希望している家庭などを追加。 ○希望するパートタイムの就労時間短い家庭。
D	専業主婦(夫)	○無業×無業のうち、今後働きたいと希望している家庭などを追加。
E	パートタイム ×パートタイム	○母親が無業で、今後パートタイムできたいと希望している家庭などを追加。 ○希望するパートタイムの就労時間が長い家庭。
E'	パートタイム ×パートタイム2	○母親が無業で、今後パートタイムできたいと希望している家庭などを追加。 ○希望するパートタイムの就労時間が短い家庭。
F	無業×無業	

家族類型ごとに想定されるサービスの種類

TYPE	分類名	想定されるサービス
A	ひとり親家庭	
B	フルタイム ×フルタイム	○ <u>保育の必要性の認定を受け得る家庭。</u> ●保育所 ●認定こども園 ●地域型保育(小規模保育や家庭的保育など)
C	フルタイム ×パートタイム	
E	パートタイム ×パートタイム	
D	専業主婦(夫)	
C'	フルタイム ×パートタイム2	○ <u>専業主婦家庭あるいは父母の就労時間の短い家庭。</u> ●幼稚園 ●認定こども園
E'	パートタイム ×パートタイム2	
F	無業×無業	

サービス見込み量の算出

潜在的な家族類型と対象年齢ごとにアンケート調査から求められる各種サービスに関する利用意向率等を、年度ごとの推計人口と乗算し、算出された各種サービスの見込み量は下記のとおりです。

1. 教育・保育

■0歳家庭のみ

① 認定こども園及び保育所＋地域型保育（3号認定）		0歳児
対象となる家族類型	○保育の必要性の認定を受け得る家庭 ●ひとり親家庭（type A） ●フルタイム×フルタイム（type B） ●フルタイム×パートタイム（type C） ●パートタイム×パートタイム（type E）	
算出の考え方	○今後、「保育事業」の利用を希望している家庭	

①＜3号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	推計児童数 (H27年度)	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	152	9	9	9	9	8
タイプB フルタイム×フルタイム		28	27	26	26	25
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)		3	3	3	3	3
タイプE パート×パート(双方月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)		0	0	0	0	0
全体	152	40	39	38	37	36

【注】上記の児童数「全体」は、0歳児人口総数であり、他の家族類型の児童も含まれる。（以下同様）

■1・2歳家庭のみ

② 認定こども園及び保育所＋地域型保育（3号認定）		1・2歳児
対象となる家族類型	○保育の必要性の認定を受け得る家庭 ●ひとり親家庭（type A） ●フルタイム×フルタイム（type B） ●フルタイム×パートタイム（type C） ●パートタイム×パートタイム（type E）	
算出の考え方	○今後、「保育事業」の利用を希望している家庭	

②＜3号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	推計児童数	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	321	17	17	16	16	16
タイプB フルタイム×フルタイム		72	71	69	67	65
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)		20	20	20	19	19
タイプE パート×パート(双方月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)		0	0	0	0	0
全体	321	109	108	105	102	99

■3歳～就学前家庭のみ

③ 認定こども園及び幼稚園（1号認定）		3歳児以上
対象となる家族類型	○専業主婦家庭あるいは父母の就労時間の短い家庭 ●フルタイム×パートタイム2（type C'） ●専業主婦（夫）（type D） ●パートタイム×パートタイム2（type E'） ●無業×無業（type F）	
算出の考え方	○今後、「教育事業」の利用を希望している家庭	

③<1号認定>（認定こども園及び幼稚園）

	推計児童数	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプC フルタイム×パートタイム（下限時間未満＋下限時間～120時間の一部）	507	82	82	78	78	77
タイプD 専業主婦（夫）		88	87	83	83	82
タイプE パート×パート（いずれかが下限時間未満＋下限時間～120時間の一部）		0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業		2	2	2	2	2
全体	507	172	171	163	163	160

④<2号認定>（幼稚園）

④ 幼稚園（2号認定 幼稚園の利用希望が強いと想定）		3歳児以上
対象となる家族類型	○保育の必要性の認定を受け得る家庭 ●ひとり親家庭（type A） ●フルタイム×フルタイム（type B） ●フルタイム×パートタイム（type C） ●パートタイム×パートタイム（type E）	
算出の考え方	○現在、「幼稚園」を利用している家庭	

	推計児童数	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	507	7	7	7	7	6
タイプB フルタイム×フルタイム		53	53	50	50	49
タイプC フルタイム×パートタイム（月120時間以上＋下限時間～120時間の一部）		26	26	25	25	24
タイプE パート×パート（双方月120時間以上＋下限時間～120時間の一部）		0	0	0	0	0
全体	507	86	85	81	81	80

⑤<2号認定>（認定こども園及び保育所）

⑤ 認定こども園及び保育所（2号認定）		3歳児以上
対象となる家族類型	○保育の必要性の認定を受け得る家庭 ●ひとり親家庭（type A） ●フルタイム×フルタイム（type B） ●フルタイム×パートタイム（type C） ●パートタイム×パートタイム（type E）	
算出の考え方	○今後、「教育・保育事業」の利用を希望している家庭	

	推計児童数	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	507	28	27	26	26	26
タイプB フルタイム×フルタイム		111	110	105	105	103
タイプC フルタイム×パートタイム（月120時間以上＋下限時間～120時間の一部）		69	68	65	65	64
タイプE パート×パート（双方月120時間以上＋下限時間～120時間の一部）		5	5	4	4	4
全体	507	211	210	200	200	197

2-1. 時間外保育事業

時間外保育事業	全年齢
対象となる家族類型	○保育の必要性の認定を受け得る家庭 ●ひとり親家庭（type A） ●フルタイム×フルタイム（type B） ●フルタイム×パートタイム（type C） ●パートタイム×パートタイム（type E）
算出の考え方	○今後、「保育事業」の利用を希望している家庭であり、「18 時以降」の保育を希望している家庭。 ○国からの指針では、時間外保育の時間設定を「18 時以降」とされているが、各自治体の実情に応じて変更は可能。

	推計児童数	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	980	20	20	19	19	18
タイプB フルタイム×フルタイム		138	137	131	130	127
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		24	24	23	22	22
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		3	3	3	2	2
全体	980	185	182	176	173	170

2-2. 放課後児童健全育成事業

<低学年>

① 放課後児童健全育成事業 低学年	5 歳児以上
対象となる家族類型	○保育の必要性の認定を受け得る家庭 ●ひとり親家庭（type A） ●フルタイム×フルタイム（type B） ●フルタイム×パートタイム（type C） ●パートタイム×パートタイム（type E）
算出の考え方	○来年就学予定の児童で、低学年のうちの放課後の過ごし方で放課後児童クラブを希望している家庭。 ○小学生調査による独自の放課後児童クラブ利用状況及び利用意向を実施している場合は、こちらの回答から独自の算出をすることも可能。

	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	12	12	13	12	12
タイプB フルタイム×フルタイム	101	104	107	105	104
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	52	54	55	55	54
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	4	4	5	4	4
全体	170	174	179	176	175

<高学年>

② 放課後児童健全育成事業 高学年	5 歳児以上
対象となる家族類型	○保育の必要性の認定を受け得る家庭 ●ひとり親家庭（type A） ●フルタイム×フルタイム（type B） ●フルタイム×パートタイム（type C） ●パートタイム×パートタイム（type E）
算出の考え方	○来年就学予定の児童で、高学年のうちの放課後の過ごし方で放課後児童クラブを希望している家庭。 ○小学生調査による独自の放課後児童クラブ利用状況及び利用意向を実施している場合は、こちらの回答から独自の算出をすることも可能。

	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	5	5	5	4	5
タイプB フルタイム×フルタイム	77	68	66	64	66
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	20	18	17	17	17
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	5	4	4	4	4
全体	107	94	92	89	92

2-3. 子育て短期支援事業(ショートステイ)

子育て短期支援事業（ショートステイ）		全年齢
対象となる家族類型	○全ての家族類型	
算出の考え方	○この1年間の泊まりがけの預り先で「ショートステイを利用した」か「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した家庭。 ○「ショートステイを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の対処日数を基に、利用意向日数を算出。	

	推計児童数	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	980	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム		24	24	23	23	22
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)		0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業		0	0	0	0	0
全体	980	24	24	23	23	22

2-5. 地域子育て支援拠点事業

地域子育て支援拠点事業		0～2 歳児
対象となる家族類型	○全ての家族類型	
算出の考え方	○現在、「地域子育て支援拠点事業を利用している」または、「地域子育て支援拠点事業を利用していないが、今後利用したい」と回答している家庭。 ○「地域子育て支援拠点事業を利用している」「地域子育て支援拠点事業を利用していないが、今後利用したい」「地域子育て支援拠点事業をすでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の利用回数を基に、利用意向回数を算出。	

	推計児童数	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人	人回	人回	人回	人回	人回
タイプA ひとり親	473	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム		286	282	274	266	260
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		20	20	19	18	18
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		45	44	43	42	41
タイプD 専業主婦(夫)		339	333	324	315	308
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		23	23	22	22	21
タイプF 無業×無業		0	0	0	0	0
全体	473	713	701	682	664	647

2-6. 一時預かり他

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)>

① 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育) (1号認定)		3歳児以上
対象となる家族類型	○専業主婦家庭あるいは父母の就労時間の短い家庭 ●フルタイム×パートタイム2 (type C') ●専業主婦(夫) (type D) ●パートタイム×パートタイム2 (type E') ●無業×無業 (type F)	
算出の考え方	○今後、「幼稚園または認定こども園」の利用を希望している家庭であり、「私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期の教育・保育事業の利用」を希望している家庭。 ○現在、「幼稚園」を利用している家庭で、「一時預かり」や「幼稚園の預かり保育」を利用している家庭。 ○「私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期の教育・保育事業の利用」を希望している家庭の年間平均利用希望日数を算出。	

	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプC フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	2,000	1,984	1,893	1,893	1,862
タイプD 専業主婦(夫)	948	940	897	897	882
タイプE パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	2,948	2,924	2,791	2,791	2,744

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外>

③ 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外		全年齢
対象となる家族類型	○全ての家族類型	
算出の考え方	○今後、「私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期の教育・保育事業の利用」を希望している家庭。 ○現在、「幼稚園」を利用している家庭で、「一時預かり」や「幼稚園の預かり保育」を利用している家庭。 ○「私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期の教育・保育事業の利用」を希望している家庭の年間平均利用希望日数を算出。	

<2号認定による定期的な利用>

	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	1,318	1,308	1,248	1,248	1,227
タイプB フルタイム×フルタイム	4,434	4,399	4,198	4,198	4,128
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	4,176	4,143	3,954	3,954	3,888
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	9,928	9,850	9,400	9,400	9,243

<上記以外>

	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	603	595	573	566	554
タイプB フルタイム×フルタイム	2,352	2,323	2,236	2,207	2,161
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,217	1,202	1,157	1,142	1,119
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	689	672	664	631	610
タイプD 専業主婦(夫)	1,102	1,084	1,052	1,027	1,002
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	53	52	50	50	49
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	53	52	50	50	49
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	6,068	5,981	5,783	5,672	5,544

2. 病児病後児保育、ファミリー・サポート・センター（病児・病後児）

<0～5歳以下家庭のみ>

病児・病後児保育、ファミリー・サポート・センター（病児・病後児）		全年齢
対象となる家族類型	○保育の必要性の認定を受け得る家庭 ●ひとり親家庭（type A） ●フルタイム×フルタイム（type B） ●フルタイム×パートタイム（type C） ●パートタイム×パートタイム（type E）	
算出の考え方	○この1年間に病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法として、「父親または母親が休んだが、できれば病児・病後児保育を利用したい」または「病児・病後児保育を利用した」「ファミリーサポートセンターを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した家庭。 ○「できれば病児・病後児保育を利用したい日数」「病児・病後児の保育を利用した日数」「ファミリーサポートセンターを利用した日数」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数」を基に、利用意向日数を算出。	

	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	24	24	23	23	22
タイプB フルタイム×フルタイム	611	604	581	574	562
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	52	52	50	49	48
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	13	13	13	12	12
全体	701	693	667	658	645

2-8. 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児)

<低学年>

① ファミリー・サポート・センター 低学年		5 歳児以上
対象となる家族類型	○全ての家族類型	
算出の考え方	○来年就学予定の児童で、低学年のうちの放課後の過ごし方でファミリーサポートセンターを希望している家庭。 ○低学年のうちの放課後の過ごしかたで「ファミリーサポートセンターを希望している」の希望日数を基に、利用意向日数を算出。	

	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	0	0	0	0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	0	0	0	0	0

<高学年>

② ファミリー・サポート・センター 高学年		5 歳児以上
対象となる家族類型	○全ての家族類型	
算出の考え方	○来年就学予定の児童で、高学年のうちの放課後の過ごし方でファミリーサポートセンターを希望している家庭。 ○高学年のうちの放課後の過ごしかたで「ファミリーサポートセンターを希望している」の希望日数を基に、利用意向日数を算出。	

	ニーズ量 (H27年度)	ニーズ量 (H28年度)	ニーズ量 (H29年度)	ニーズ量 (H30年度)	ニーズ量 (H31年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	0	0	0	0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	0	0	0	0	0

参考 家族類型(現状)の算出方法

参考までに家族類型(現状)の算出方法を示します。

アンケート調査の結果から、下記条件に基づき、各家族の状況を家族類型として分類します。

TYPE	分類名	概要
A	ひとり親家庭	○調査票の回答者が父親か母親で、配偶者がいない家庭。
B	フルタイム ×フルタイム	○父親、母親ともにフルタイムで働いている家庭。
C	フルタイム ×パートタイム	○父親、母親どちらかがフルタイムで働いており、もう片方がパートタイムで働いている家庭。 ○パートタイムの就労時間が、月 120 時間以上。 ○パートタイムの就労時間が、月 120 時間～就労下限時間のうちの一部（年齢及び保育の状況及び希望による）。 ●3 歳以上で、「幼稚園」を利用していないか、「幼稚園」を利用していて、今後、利用したい教育・保育事業として「認可保育所」「認定子ども園」を希望している家庭。 ●0～2 歳の中で、「保育事業」を利用している家庭。 ●0～2 歳の中で、「教育、保育事業」は利用していないが、今後、「保育事業」の利用を希望している家庭。
C'	フルタイム ×パートタイム 2	○父親、母親どちらかがフルタイムで働いており、もう片方がパートタイムで働いている家庭。 ○パートタイムの就労時間が、就労下限未満。 ○パートタイムの就労時間が、月 120 時間～就労下限時間のうちの一部（年齢及び保育の状況及び希望による）。 ●3 歳以上で、「幼稚園」を利用しており、今後、利用したい教育・保育事業として「認可保育所」「認定子ども園」を希望していない家庭。 ●0～2 歳の中で、「保育事業」を利用していない家庭。 ●0～2 歳の中で、「教育、保育事業」は利用しておらず、今後も、「保育事業」の利用を希望していない家庭。
D	専業主婦（夫）	○父親、母親どちらかがフルタイムかパートタイムで働いており、もう片方が無業の家庭。
E	パートタイム ×パートタイム	○父親、母親どちらもがパートタイムで働いている家庭。 ○どちらの就労時間も、月 120 時間以上。 ○どちらかの就労時間が、月 120 時間以上で、片方の就労時間が、月 120 時間～就労下限時間のうちの一部（年齢及び保育の状況及び希望による）。 ●3 歳以上で、「幼稚園」を利用していないか、「幼稚園」を利用していて、今後、利用したい教育・保育事業として「認可保育所」「認定子ども園」を希望している家庭。 ●0～2 歳の中で、「保育事業」を利用している家庭。 ●0～2 歳の中で、「教育、保育事業」は利用していないが、今後、「保育事業」の利用を希望している家庭。
E'	パートタイム ×パートタイム 2	○父親、母親どちらもがパートタイムで働いている家庭。 ○どちらの就労時間も、就労下限未満。 ○どちらかの就労時間が、月 120 時間～就労下限時間のうちの一部（年齢及び保育の状況及び希望による）。 ●3 歳以上で、「幼稚園」を利用しており、今後、利用したい教育・保育事業として「認可保育所」「認定子ども園」を希望していない家庭。 ●0～2 歳の中で、「保育事業」を利用していない家庭。 ●0～2 歳の中で、「教育、保育事業」は利用しておらず、今後も、「保育事業」の利用を希望していない家庭。
F	無業×無業	父親、母親ともに無職と回答した家庭。

※ 下限時間…月の就労時間の基準として、48～64時間の間で市町村が決定

参考 潜在的な家族類型の算出方法

家族類型（現状）を基に、今後の就労希望などの調査回答により潜在的な家族類型を算出します。

なお、国の手引きによると、子どものいる父親の大半がフルタイム就労であり、就労状況の変更希望も少ない事に鑑み、作業の簡素化のために母親の就労状況の変化のみに着目した潜在的な家族類型の算出方法が示されています。

TYPE	分類名	概要
A	ひとり親家庭	○現状のひとり親家庭（タイプA）。
B	フルタイム ×フルタイム	○現状のフルタイム×フルタイム家庭（タイプB）。 ○父親がフルタイム 母親のパートタイムからフルタイムへの意向を追加（タイプC、C'からの追加）。 ○父親がフルタイム 母親の無業からフルタイムへの意向を追加（タイプDからの追加）。
C	フルタイム ×パートタイム	○現状のフルタイム×パートタイム家庭（タイプC）。 ○父親がパートタイム 母親の無業からパートタイムへの意向を追加（タイプDからの追加）。 ●年齢、教育・保育事業の利用状況、利用意向による判断あり。 ○父親がパートタイム 母親のパートタイムからフルタイムへの意向を追加（タイプE、E'からの追加）。 ○父親がパートタイム 母親の無業からフルタイムへの意向を追加（タイプDからの追加）。
C'	フルタイム ×パートタイム2	○現状のフルタイム×パートタイム家庭（タイプC'）。 ○父親がパートタイム 母親の無業からパートタイムへの意向を追加（タイプDからの追加）。 ●年齢、教育・保育事業の利用状況、利用意向による判断あり。 ○父親がパートタイム 母親のパートタイムからフルタイムへの意向を追加（タイプE'からの追加）。 ○父親がパートタイム 母親の無業からフルタイムへの意向を追加（タイプDからの追加）。
D	専業主婦（夫）	○現状の専業主婦（夫）（タイプD）。 ○父親が無業 母親の無業からフルタイム・パートタイムへの意向を追加（タイプFからの追加）。
E	パートタイム ×パートタイム	○現状のパートタイム×パートタイム家庭（タイプE）。 ○父親がパートタイム 母親の無業からパートタイムへの意向を追加（タイプDからの追加）。 ●年齢、教育・保育事業の利用状況、利用意向による判断あり。
E'	パートタイム ×パートタイム2	○現状のパートタイム×パートタイム家庭（タイプE'）。 ○父親がパートタイム 母親の無業からパートタイムへの意向を追加（タイプDからの追加）。 ●年齢、教育・保育事業の利用状況、利用意向による判断あり。
F	無業×無業	○現状の無業×無業家庭（タイプF）。